

Jera

エネルギーを新しい時代へ

【StudioX】ミニロボ_Excelとブラウザ操作

株式会社 JERA デジタルソリューション統括部
プラントソリューション部 支社ITソリューションユニット

タスク作成

UiPath Studioを起動します。

StudioX

開く

閉じる

名前を付けて保存

スタート

テンプレート

ツール

設定

ヘルプ

UiPath

StudioX 2023.10.5

Enterprise License

ユーザー モードのインストール

UiPath StudioX

寿河

プロジェクト

新規

新しいタスクまたはテンプレートを作成します。

ローカル プロジェクトを開く

移動して既存のプロジェクトを開きます。

テンプレートを使用して始める

どんな作業を自動化しますか?

Add Excel Range To New Sheet In Google Sheet

Use this when consolidating data in Google Sheet received in Excel format

Add Google Sheet Range To Excel Spreadsheet

Use when consolidating data from Google Sheet to an Excel spreadsheet

Compress Files And Send As Email Attachment

Use this when you need to send an email containing a compressed file or folder.

Consolidate Excel spreadsheet using Table Extraction

Use this when you have structured data on a website that you want to consolidate in an Excel spreadsheet.

Convert PowerPoint presentation to PDF and send as attachment

Use this when you have a PowerPoint presentation that is required as a PDF attachment to an email.

Convert Word file to PDF and send as attachment

Use this when you have a Word document that is required as a PDF attachment to an email.

Create Pivot Table To Excel Sheet

Use this when you want to consolidate data in the Excel file through a pivot table and insert it into your sheet.

Download Google Spreadsheet as Excel file locally

Use this when having to convert a GSheet file to Excel, save it locally and apply further edits to it

すべてのテンプレートを表示

Jera

Page 2

© 2025 JERA Co., Inc. All Rights Reserved.

UiPath Studioのホーム画面で 「新規」「空のタスク」をクリックします。

StudioX

開く

閉じる

名前を付けて保存

スタート

テンプレート

ツール

設定

ヘルプ

UiPath

StudioX 2023.10.5

Enterprise License

ユーザー モードのインストール

UiPath StudioX

秀浜

プロジェクト

+

新規

新しいタスクまたはテンプレートを作成します。

X

空のタスク

空のプロジェクトで始めて、新しいタスク オートメーションをデザインします。

テンプレート

あらかじめ定義された共通の特性を持つオートメーションの構築に使用できるテンプレートを作成します。

テンプレートを使用して始める

🔍 どんな作業を自動化しますか?

Add Excel Range To New Sheet In Google Sheet

Use this when consolidating data in Google Sheet received in Excel format

🔗

Add Google Sheet Range To Excel Spreadsheet

Use when consolidating data from Google Sheet to an Excel spreadsheet

🔗

Compress Files And Send As Email Attachment

Use this when you need to send an email containing a compressed file or folder.

🔗

Consolidate Excel spreadsheet using Table Extraction

Use this when you have structured data on a website that you want to consolidate in an Excel spreadsheet.

🔗

Convert PowerPoint presentation to PDF and send as attachment

Use this when you have a PowerPoint presentation that is required as a PDF attachment to an email.

🔗

Convert Word file to PDF and send as attachment

Use this when you have a Word document that is required as a PDF attachment to an email.

🔗

Create Pivot Table To Excel Sheet

Use this when you want to consolidate data in the Excel file through a pivot table and insert it into your sheet.

🔗

Download Google Spreadsheet as Excel file locally

Use this when having to convert a GSheet file to Excel, save it locally and apply further edits to it.

🔗

Excel のグラフを PowerPoint プレゼンテーションに追加

Excel レポート内の連結データを PowerPoint プレゼンテーション内に表示させる場合に使用します。

🔗

Gmail の添付ファイルを Google ドライブに保存

Gmail 内のメールの添付ファイル (レポートや契約書など) を Google ドライブに保存する場合に使用します。

🔗

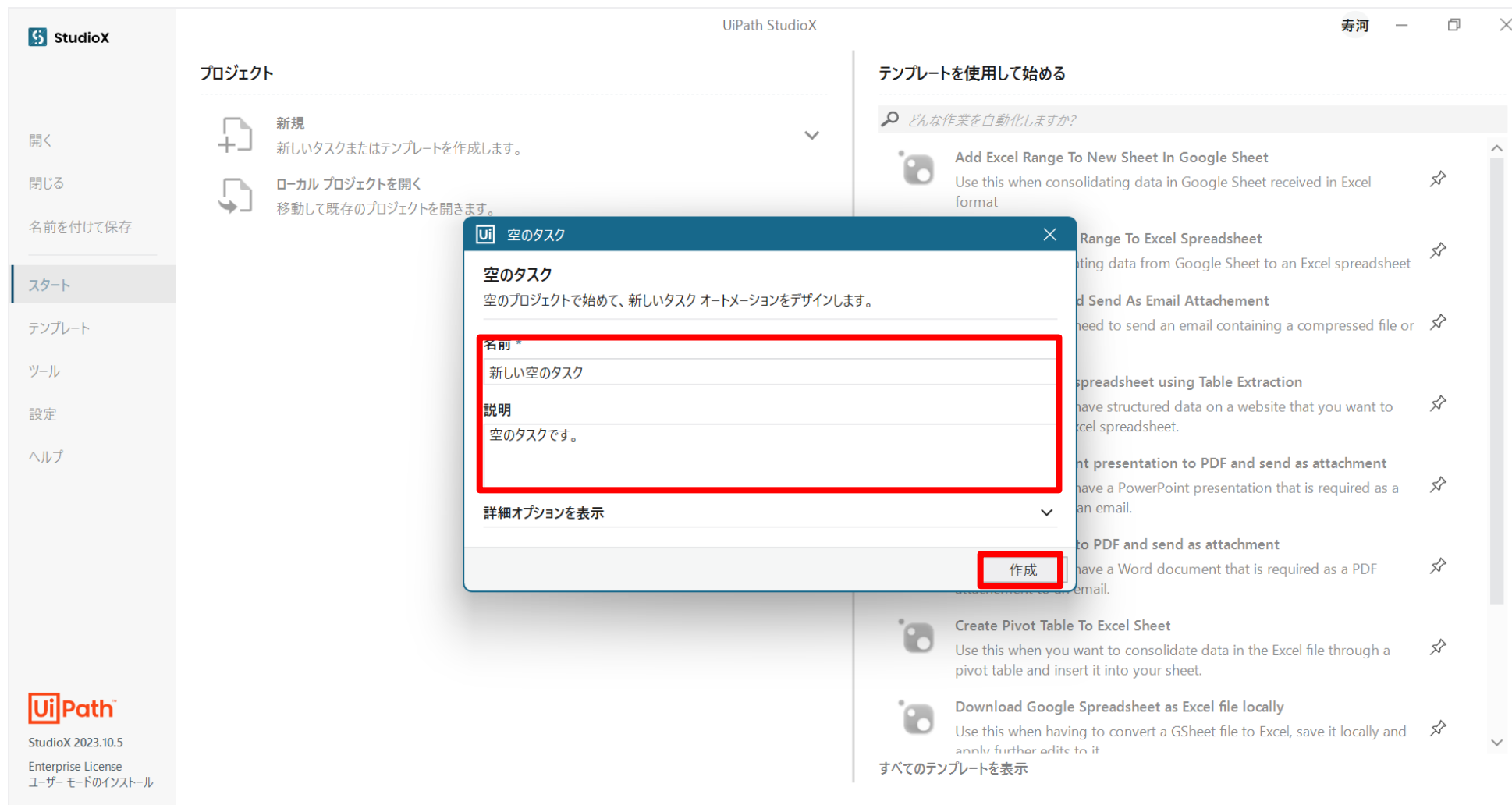
[すべてのテンプレートを表示](#)

Jera

Page 3

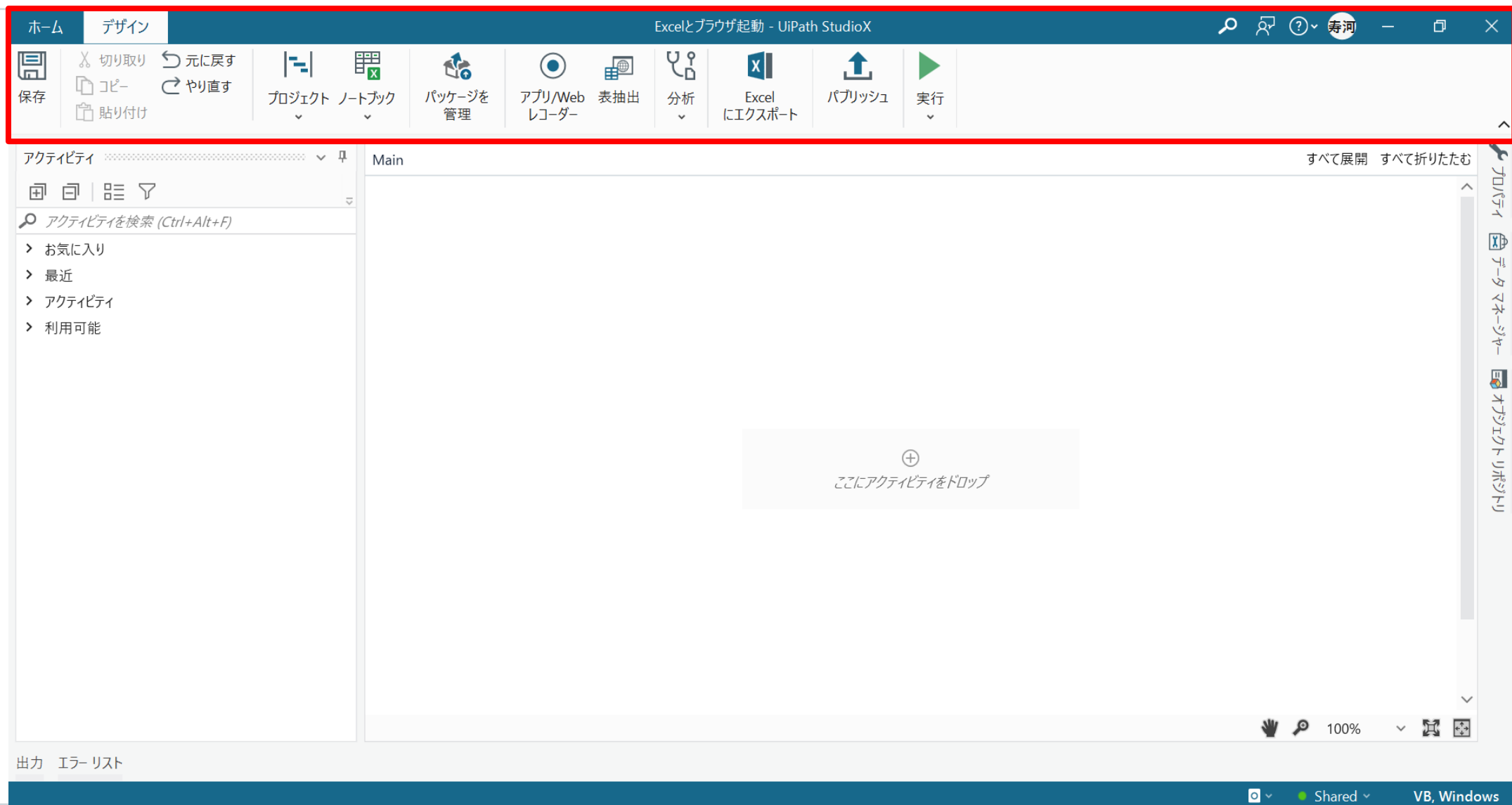
© 2025 JERA Co., Inc. All Rights Reserved.

名前に「Excelとブラウザ操作」を入力、
「作成」をクリックします。

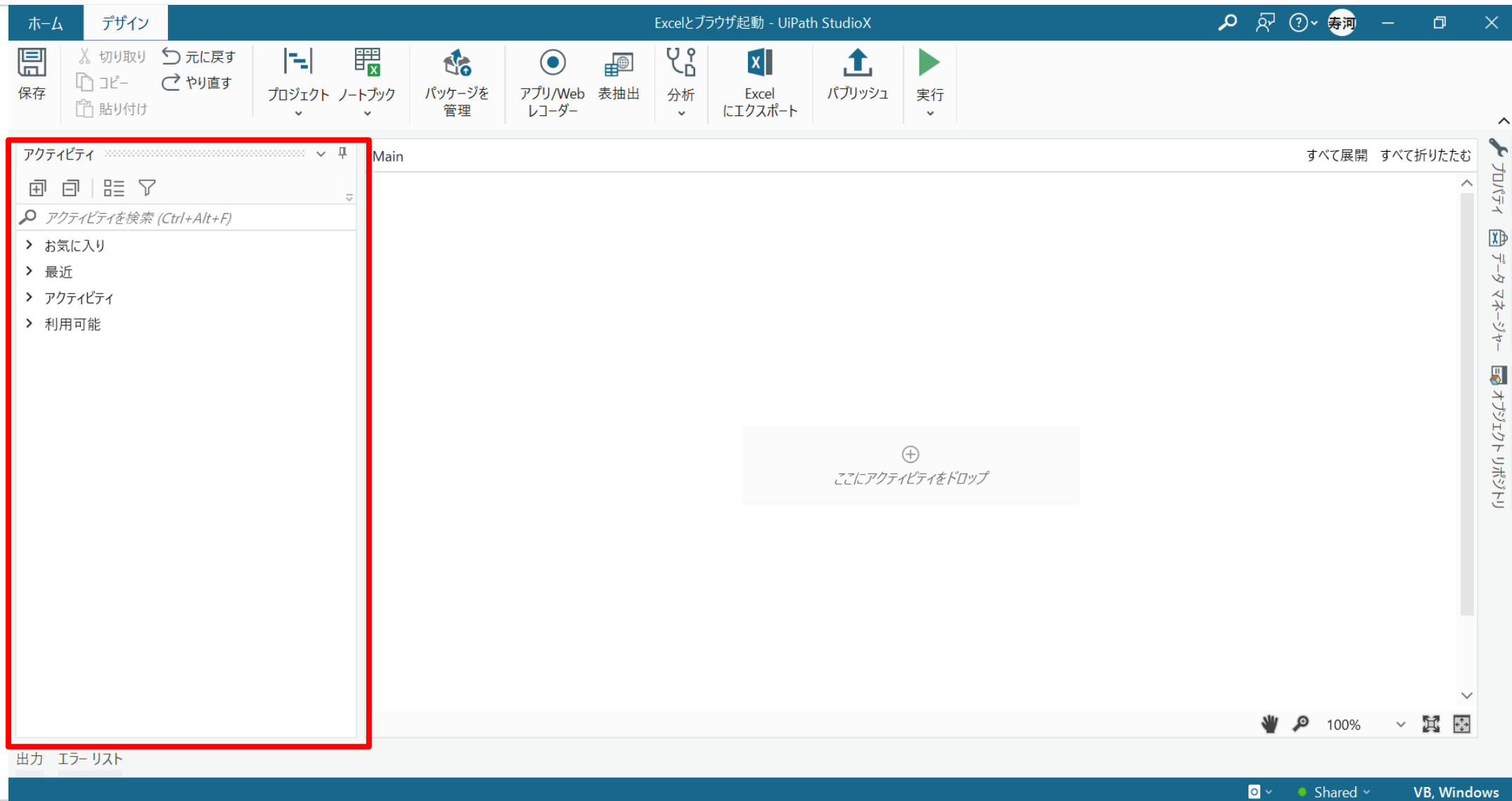


画面構成

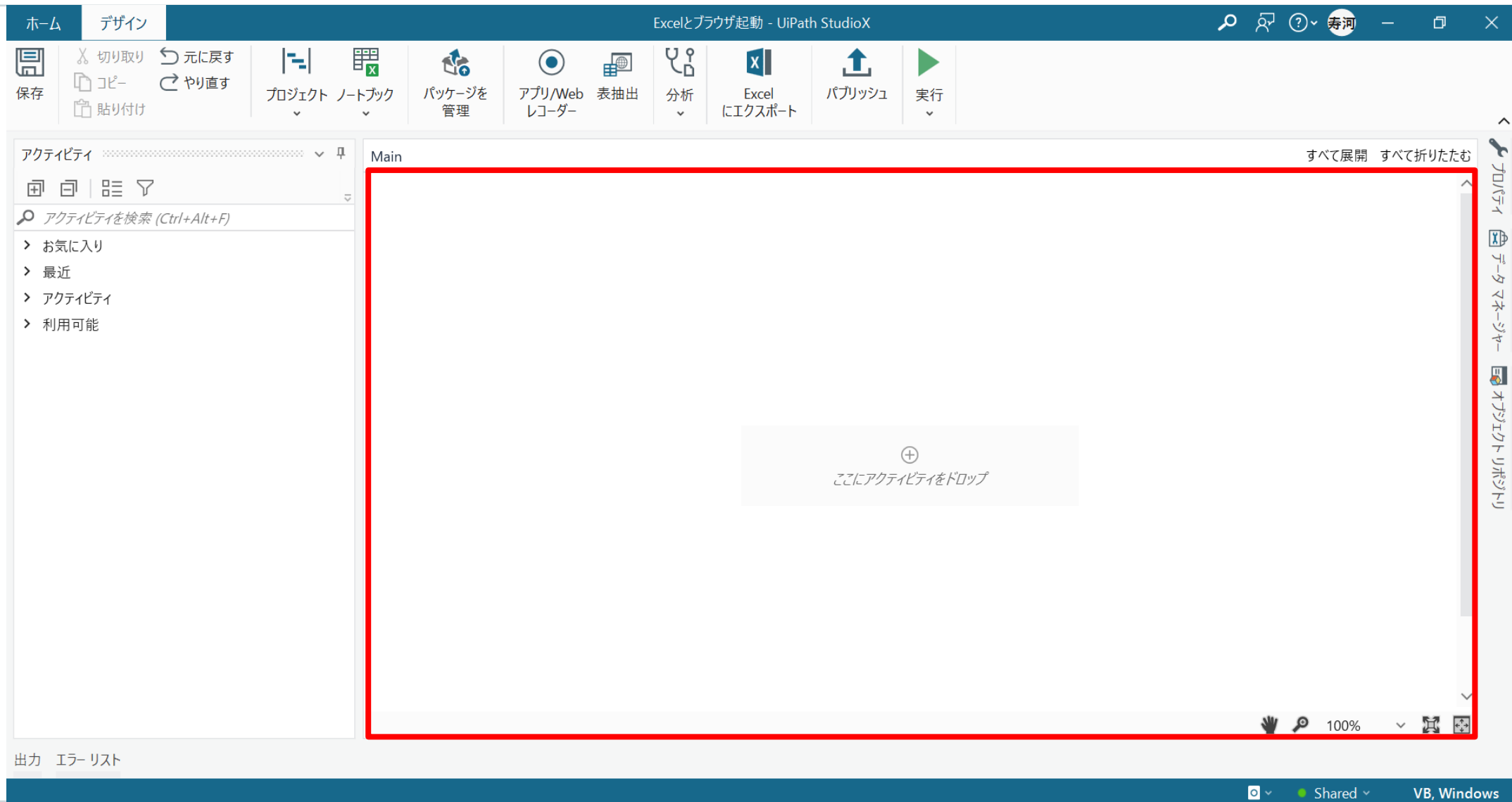
上部が「リボン」です。



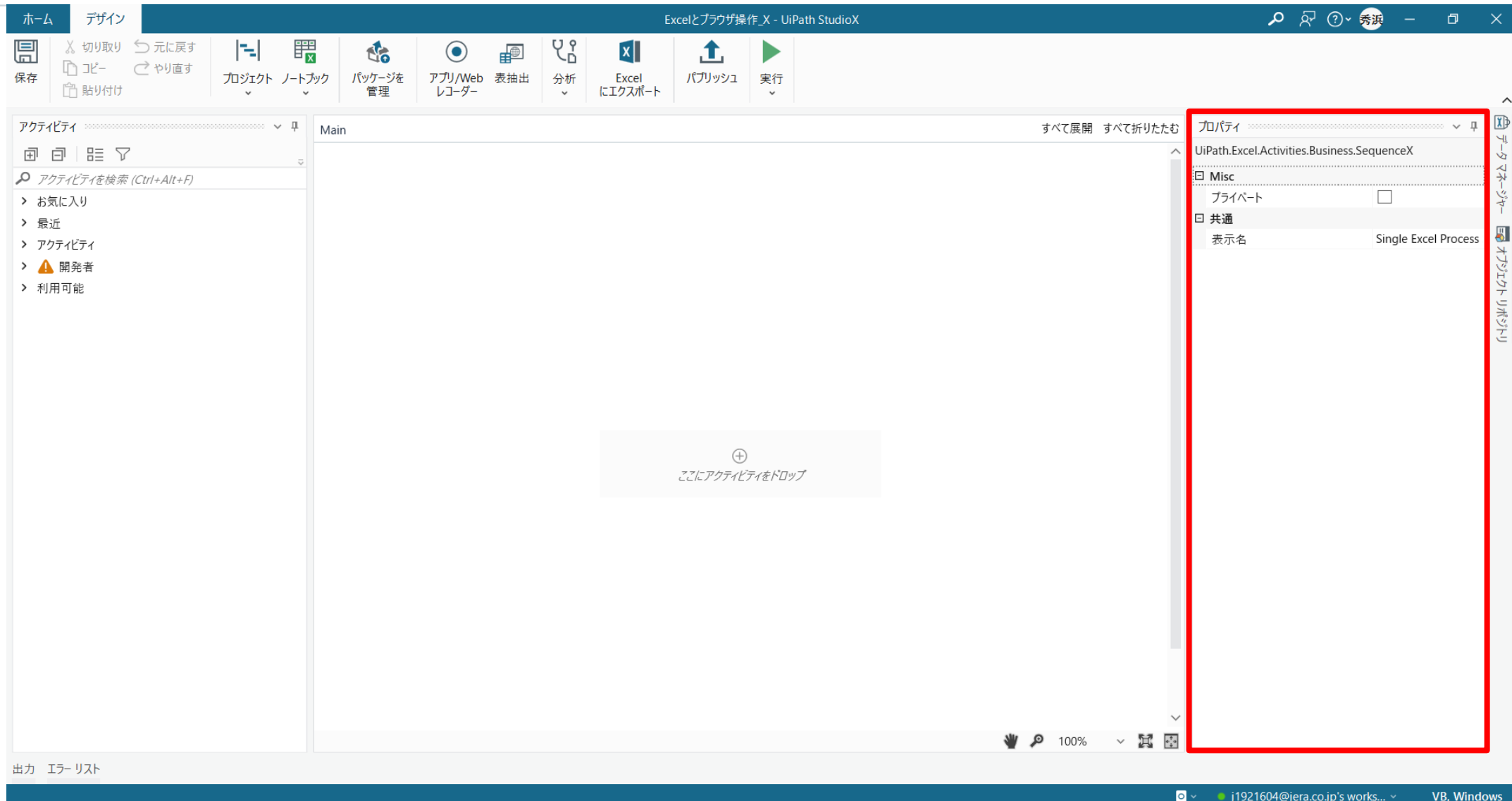
左側が「アクティビティパネル」です。



中央が「デザイナーパネル」です。

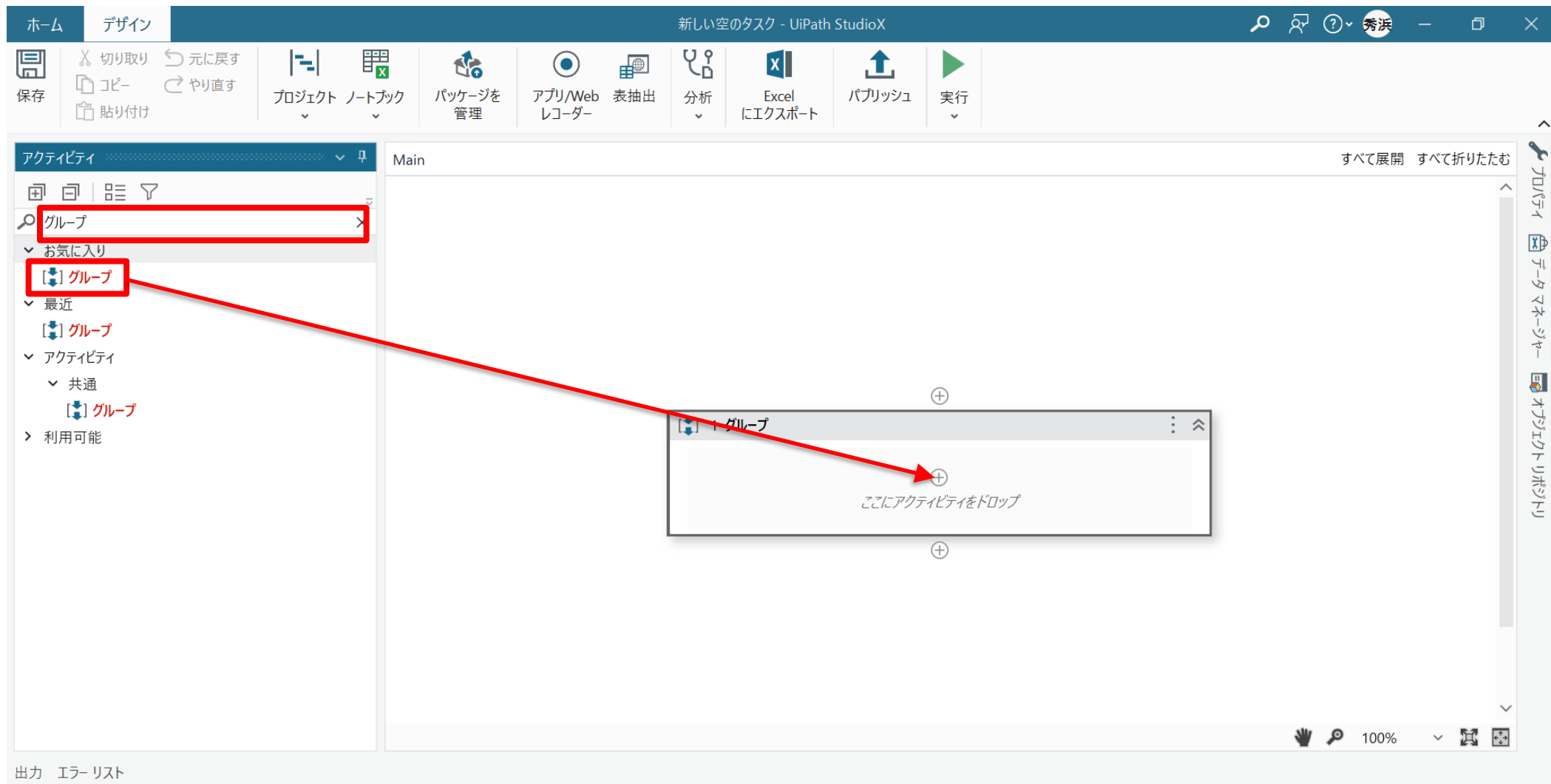


右側が「プロパティパネル」です。



URLからファイルをダウンロード

アクティビティパネルで「グループ」を検索、
デザイナーパネルにドラッグ&ドロップします。
(グループの名前を「URLからファイルをダウンロード」に変更)



アクティビティパネルで「ファイルの存在を確認」を検索、
「グループ」の中にドラッグ&ドロップします。

[↑↓] 1.1 グループ



1.1.1 ファイルの存在を確認



ファイルパス *



値を選択してください。



出力結果



(x) ファイルの存在を確認 → 存在の有無



「ファイルパス」で  をクリック、
「テキスト」を選択します。

1.1 ファイルの存在を確認

ファイルパス *

{ }

値を選択してください。

!

↩

+

出力結果

{ }

(x)ファイルの存在を確認 → 存在の有無

📄

ノートブック (自動保存: オフ)

▶

≡

テキスト

▶

ランタイム オプション

▶

「data.xlsx」を入力、
「保存」をクリックします。

Ui テキストビルダー



パス

data.xlsx



保存

キャンセル

「出力結果」で  をクリック、
「変数を作成」を選択します。


1.1 ファイルの存在を確認


ファイルパス *

{}

data.xlsx


⌵








出力結果


{}


()ファイルの存在を確認 → 存在の有無





 ノートブック (自動保存: オフ) ▶

 ランタイム オプション ▶

 変数を作成

「変数に名前を付ける」に「ファイルが存在する」を入力、
「OK」をクリックします。

Ui

変数を作成

×

変数に名前を付ける

ファイルが存在する

スコープ

Main

既定値

{ }


値を選択してください。

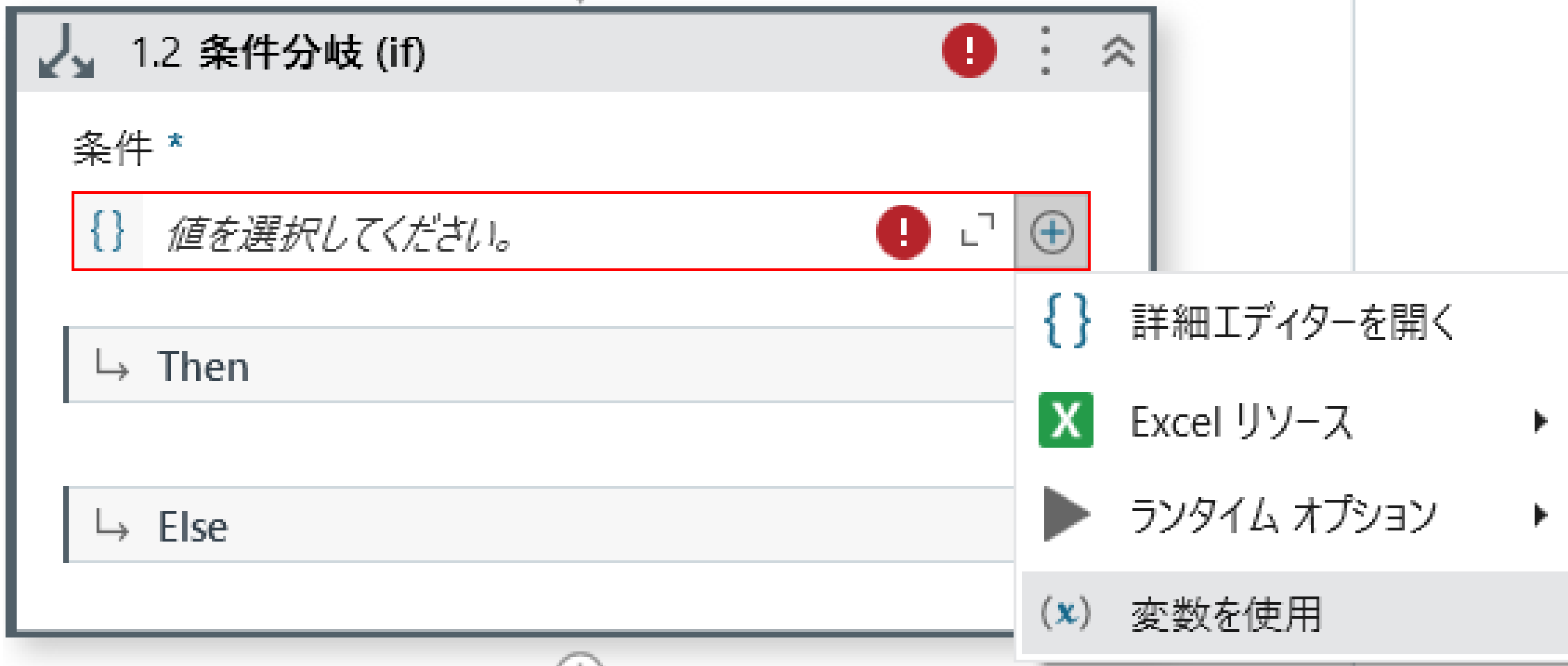
↵

+

OK

キャンセル

アクティビティパネルで「条件分岐 (if)」を検索、
「ファイルの存在を確認」の下にドラッグ&ドロップします。
「条件」で  をクリック、
「変数を使用」を選択します。



1.2 条件分岐 (if)





条件 *

{ } 値を選択してください。


Then

Else




- { } 詳細エディターを開く
- X Excel リソース
- ▶ ランタイム オプション
- (x) 変数を使用


 1.2 条件分岐 (if)   


条件 *







値を選択してください。







> (x) 変数 


変数「ファイルが存在する」を選択します。

 1.2 条件分岐 (if)   

条件 *


 値を選択してください。

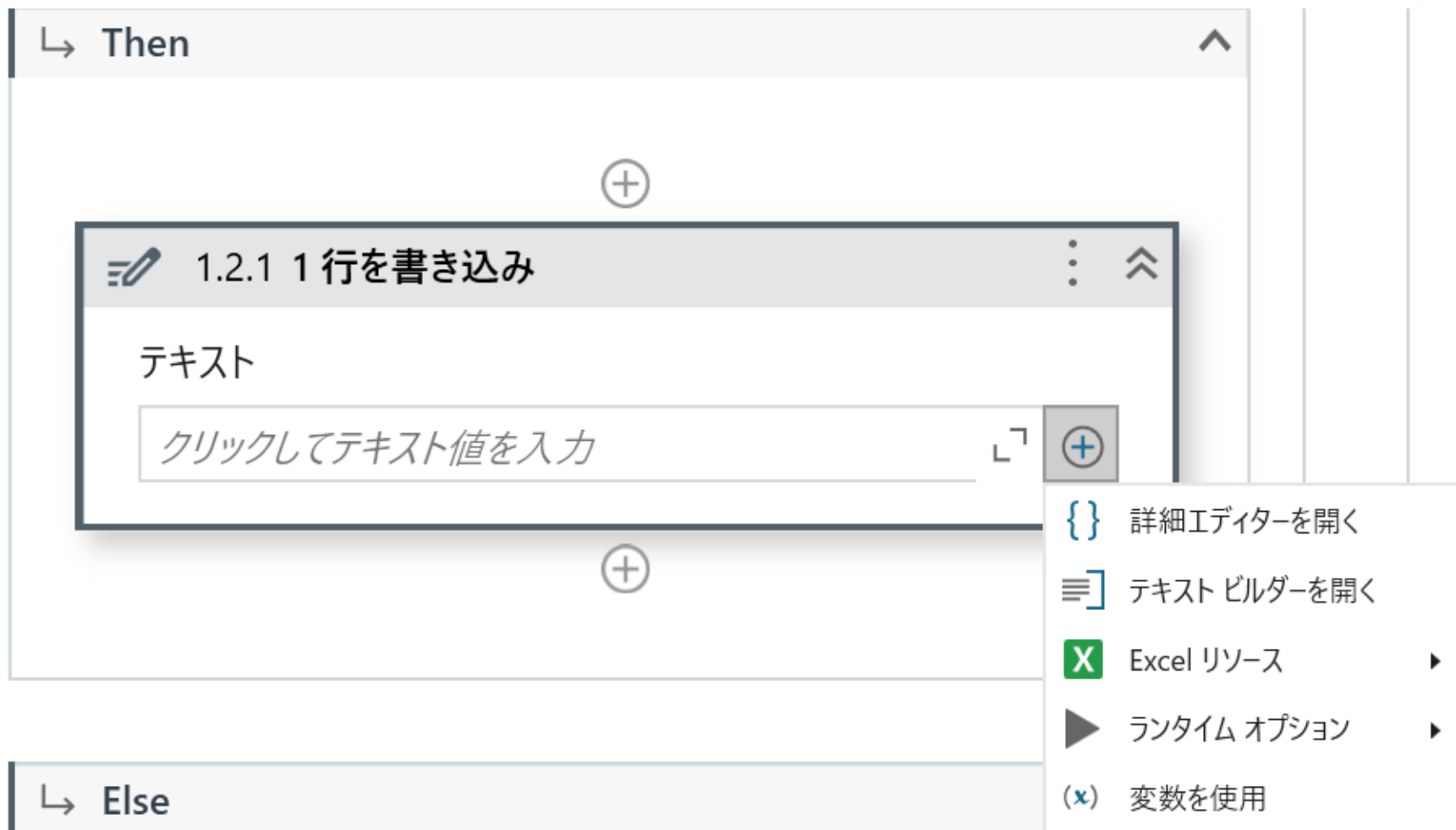
  

 |

▼ (x) 変数

(x) ファイルが存在する

アクティビティパネルで「1 行を書き込み」を検索、
「Then」の中にドラッグ&ドロップします。
「テキスト」で  をクリック、
「テキストビルダーを開く」を選択します。



「テキストビルダー」に「ファイルが存在します。」を入力します。

テキストビルダー

1行を書き込み > テキスト (InArgument<String>)

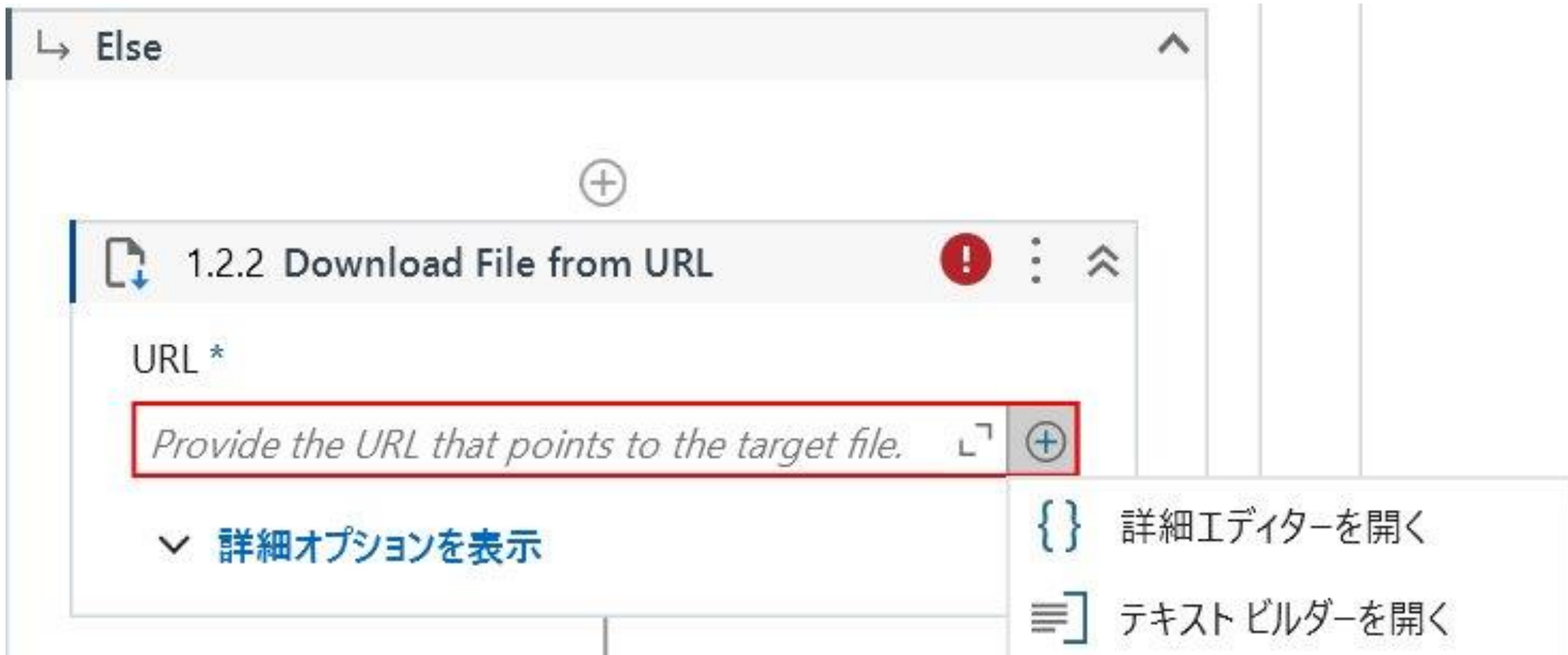
表示するテキストです。

変数を使用 ▼

ファイルが存在します。

保存 キャンセル

アクティビティパネルで「Download File from URL」を検索、
「Else」の中にドラッグ&ドロップします。
「URL」で  をクリック、
「テキストビルダーを開く」を選択します。



「The full URL used to retrieve the file from.」に
「https://www.expense-demo.com/data.xlsx」を入力、
「保存」をクリックします。

Ui テキストビルダー

□ ×

ファイルを URL からダウンロード > URL (InArgument<String>)

The full URL used to retrieve the file from.

変数を使用 ▼

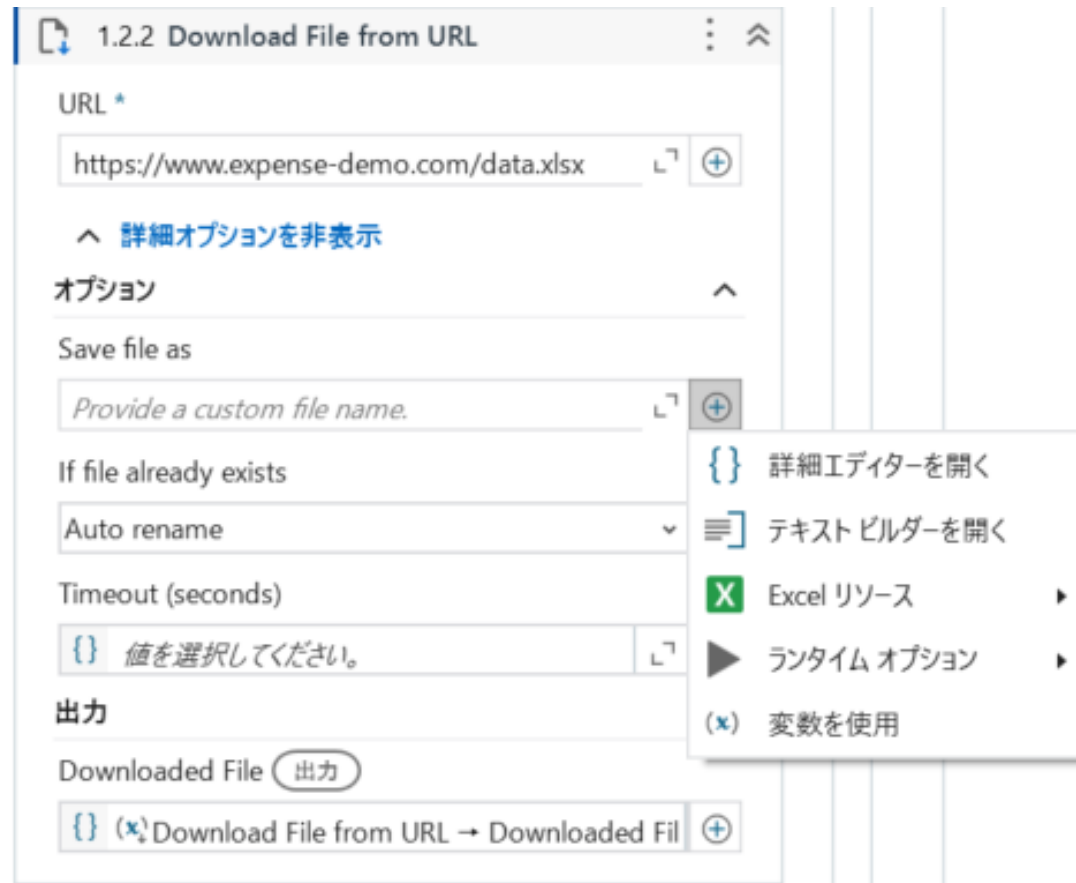
+

https://www.expense-demo.com/data.xlsx

保存

キャンセル

詳細オプションを表示をクリックし、
「Save file As」で **+** をクリック、
「テキストビルダーを開く」を選択します。



テキストビルダーに「data.xlsx」を入力、
保存をクリックします。

Ui

テキストビルダー

□

×

Download File from URL > Save file as (InArgument<String>)

Type a file name to rename it or leave empty to use the original name.

変数を使用 ▼

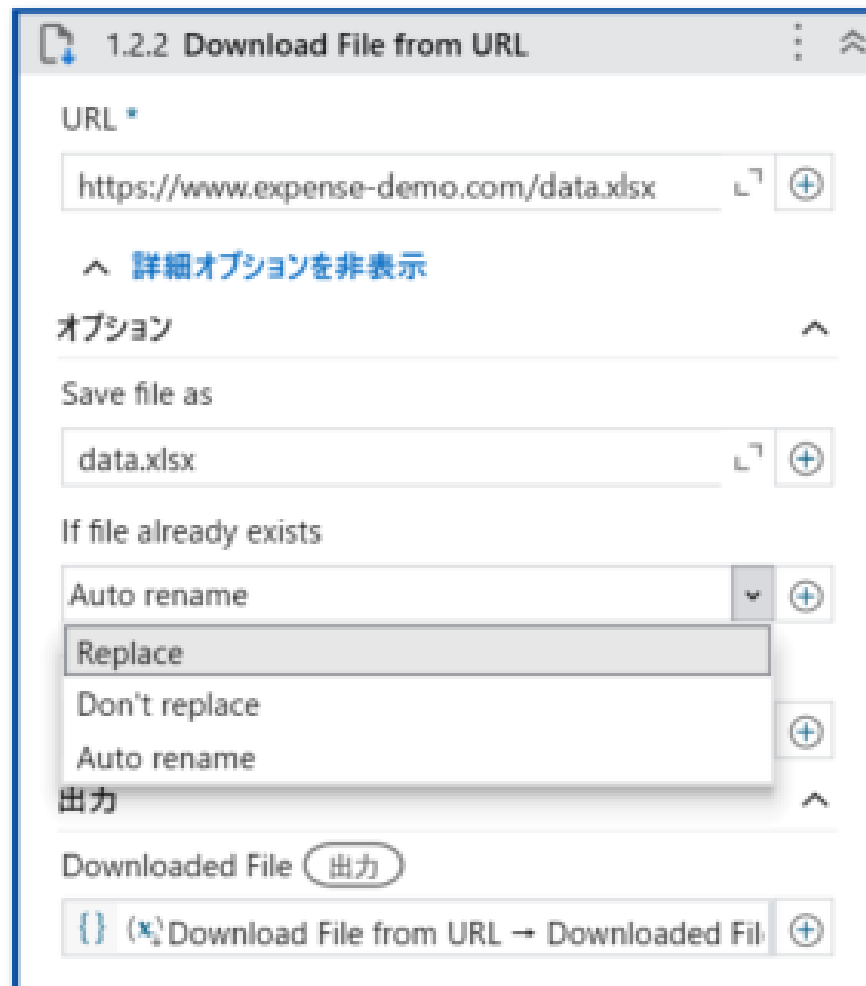
+


data.xlsx

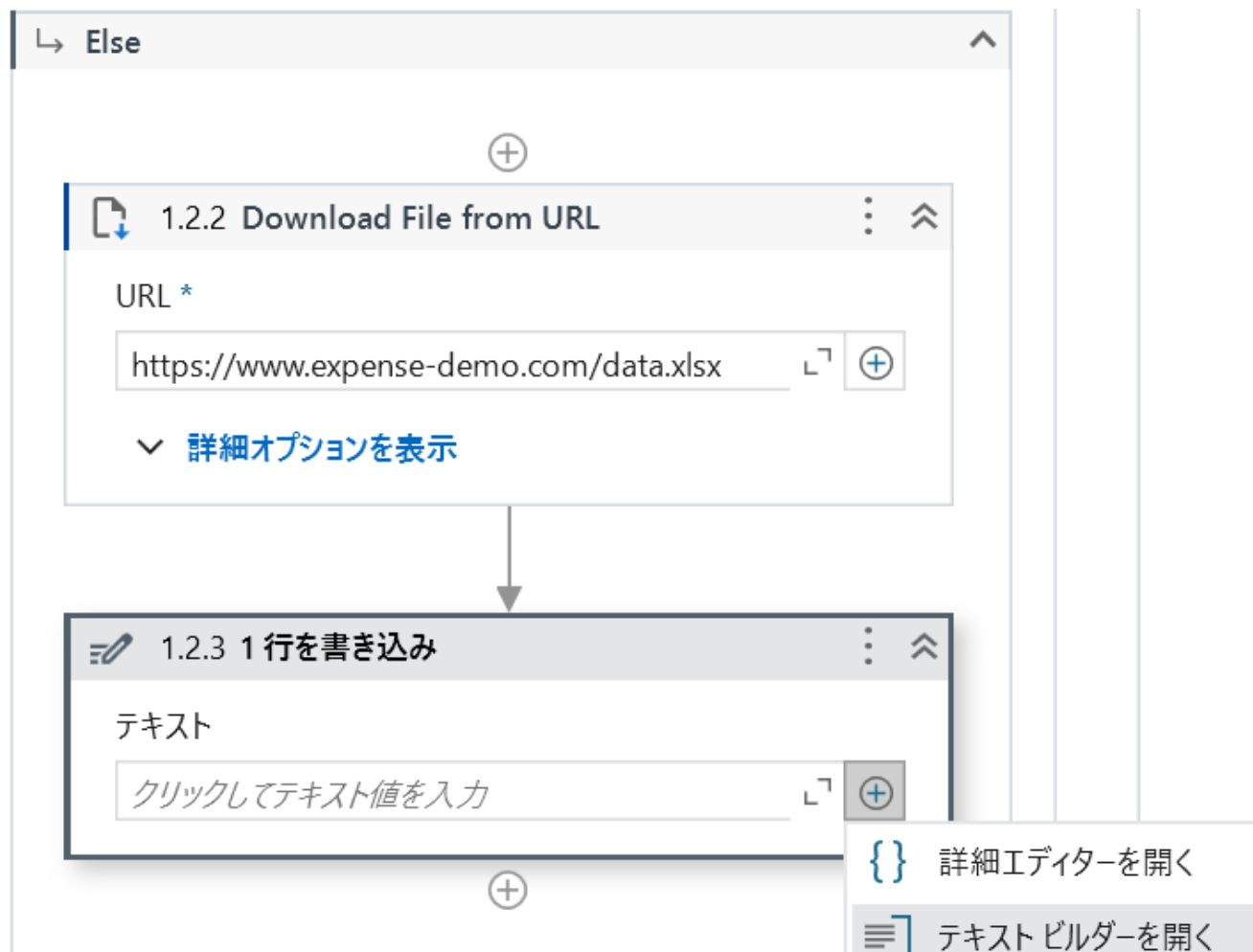
保存

キャンセル

「If file already exists」の右端「V」をクリックし、
「Replace」を選択します。



アクティビティパネルで「1 行を書き込み」を検索、
「Download File from URL」の下にドラッグ&ドロップします。
「テキストビルダー」で  をクリック、
「テキストビルダーを開く」を選択します。



「テキストビルダー」に「ファイルを URL からダウンロードしました。」を入力します。

Ui

テキスト ビルダー

□

×

1 行を書き込み > テキスト (InArgument<String>)

表示するテキストです。

変数を使用 ▼

+

ファイルを URL からダウンロードしました。

保存

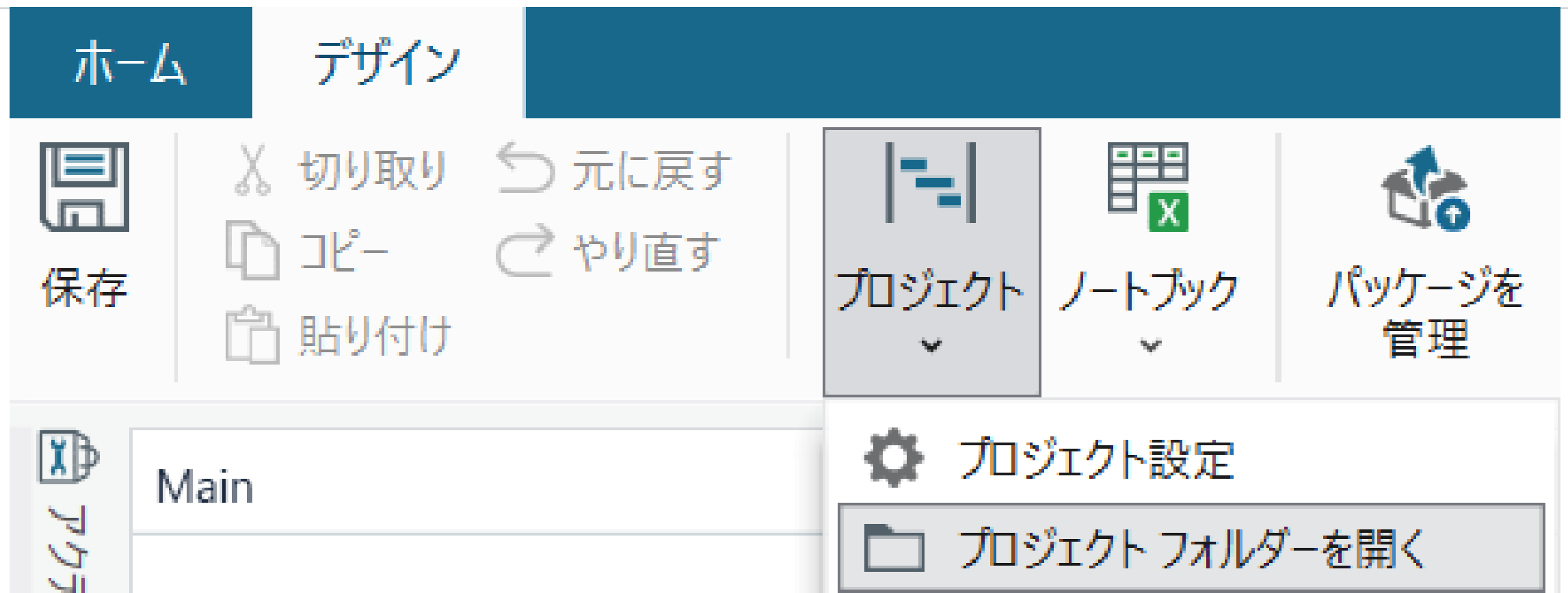
キャンセル

以上で「URLからファイルをダウンロード」パートは完成です。
リボンで「実行」をクリックすると、下記リンク先ビデオのように動作します。

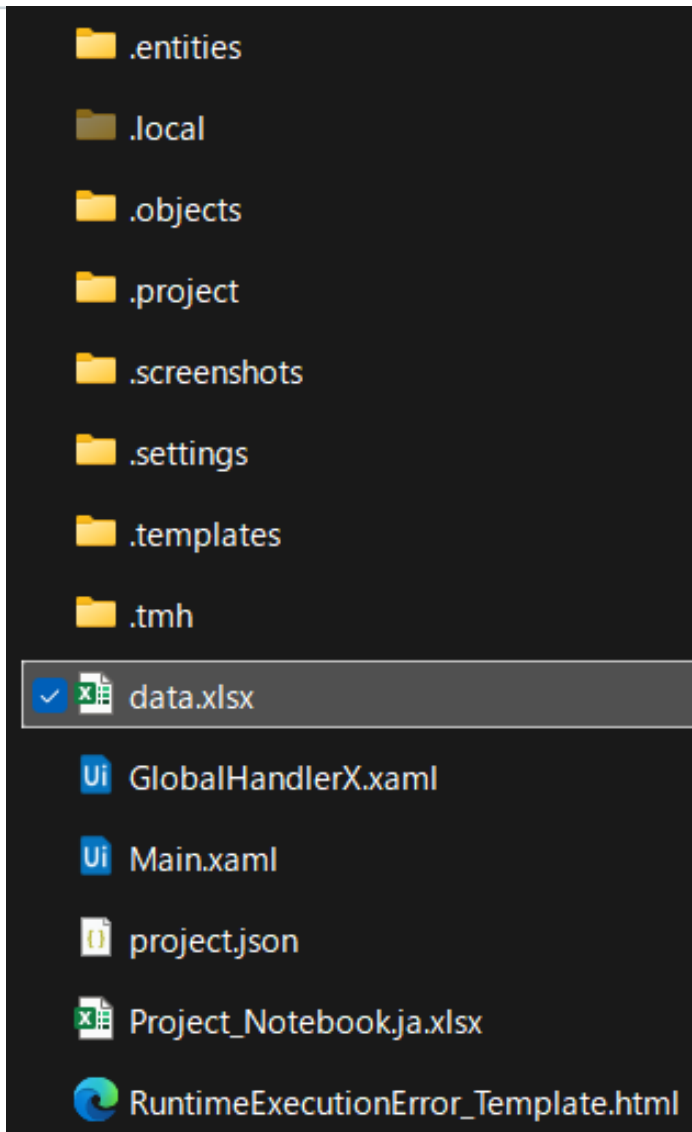


<https://jeragroup.sharepoint.com/sites/Jenny1/Shared%20Documents/General/@共有ファイル/20 教育資料/数分でマスターできる超入門ミニロボ/市民開発サポート要員スキル向上/05 Excelとブラウザ操作/ロボ作成動画/作成動画② 事前準備.mp4>

リボンで「プロジェクト」「プロジェクトフォルダーを開く」をクリックします。

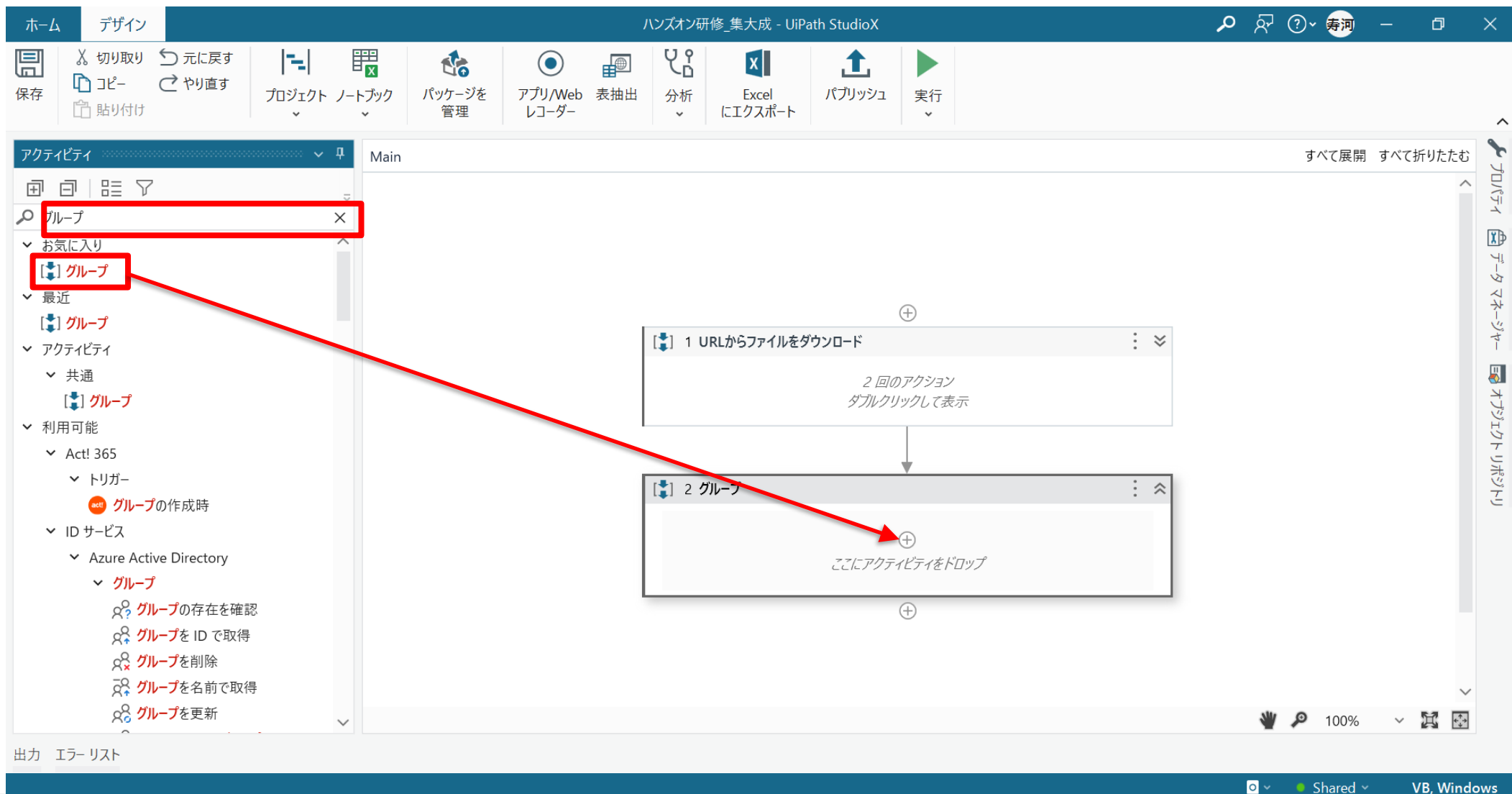


「data.xlsx」ダウンロード成功を確認します。

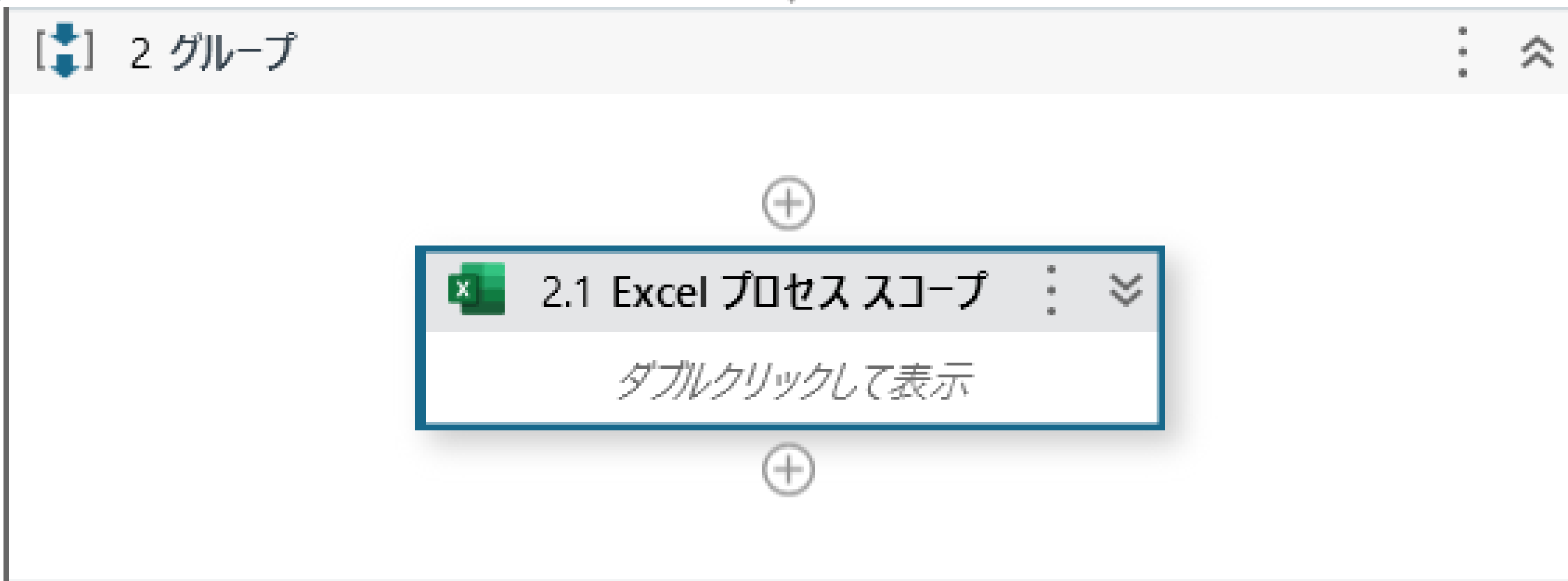


Excelとブラウザ操作

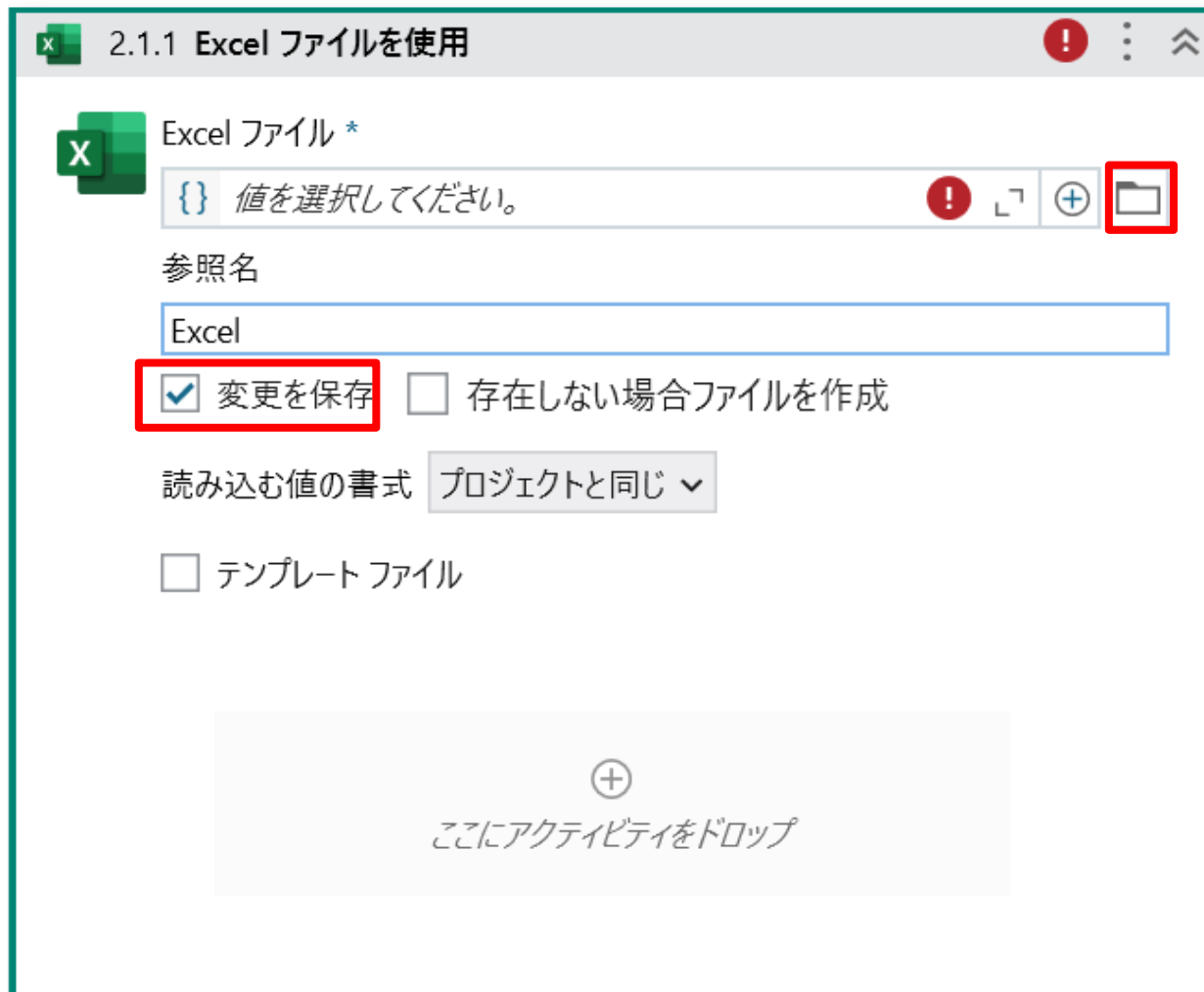
アクティビティパネルで「グループ」を検索、 デザイナーパネルにドラッグ&ドロップします。 (グループの名前を「Excelとブラウザ操作」に変更)



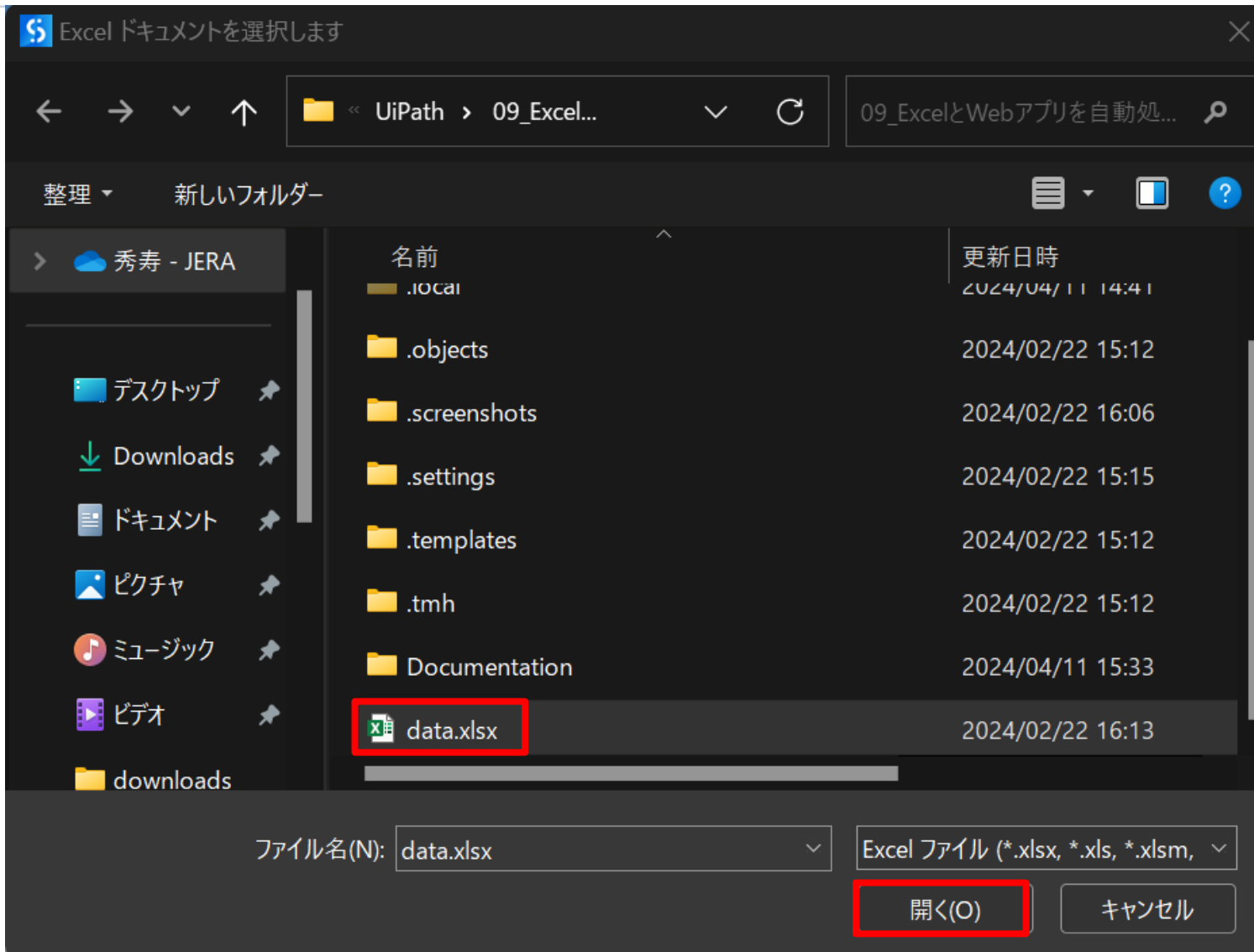
アクティビティパネルで「Excel プロセス スコープ」を検索、
「グループ」の中にドラッグ&ドロップします。



アクティビティパネルで「Excel ファイルを使用」を検索、
「Excel プロセス スコープ」の中にドラッグ&ドロップします。
「変更を保存」を☑します。
「ファイルを参照」をクリックします。



「data.xlsx」を選択、
「開く」をクリックします。



ブラウザEdgeで「https://www.expense-demo.com/」を開きます。

UiPath Demo

ホーム

UiPath Demo サイトへようこそ!!

- 当サイトは、「できるUiPath」の書籍用のウェブサイト自動化の練習用ページとなります
- レッスンで当サイトへ登録した内容は、定期的に削除されます

メニュー

経費登録

経費を登録する

サンプルのダウンロード

演習で使用しているエクセルファイルは、こちらからダウンロード可能です。

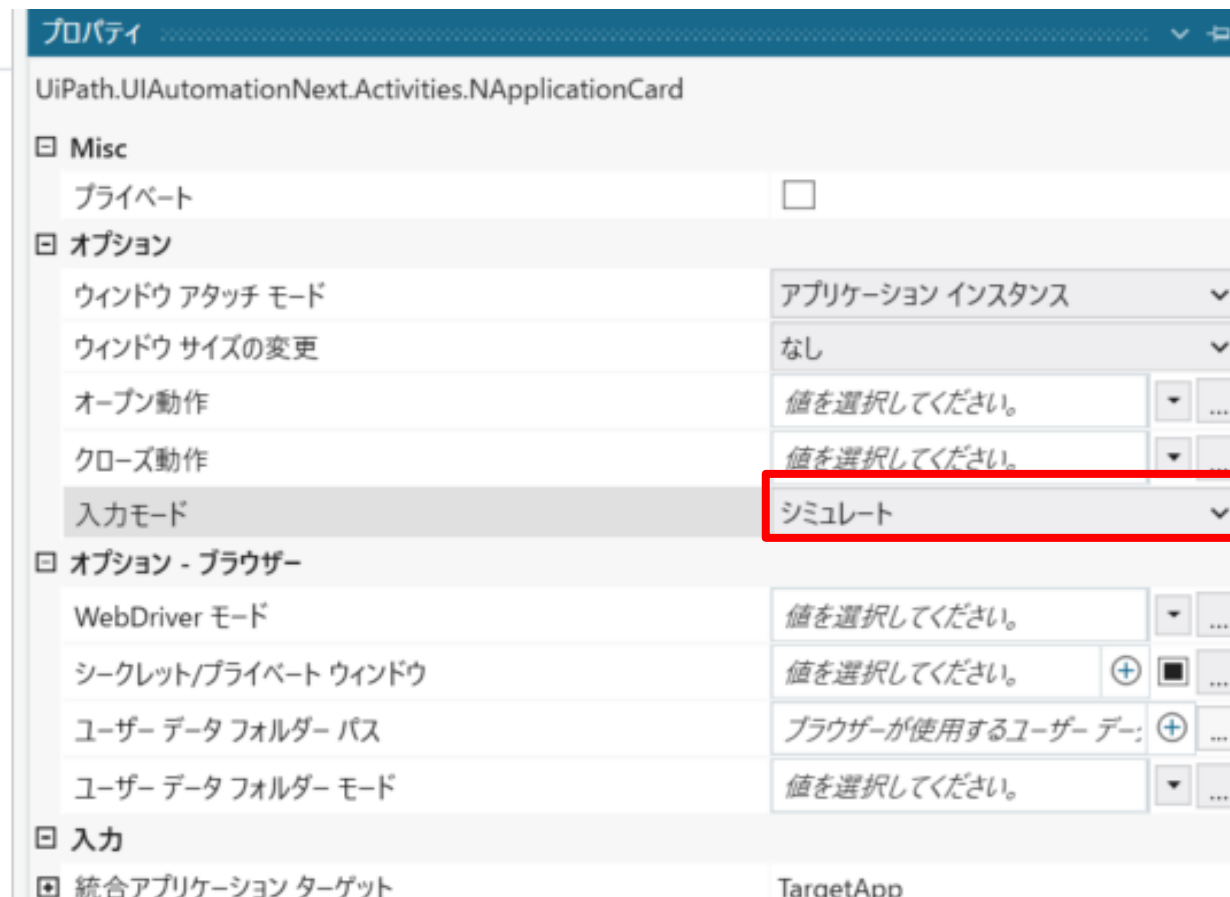
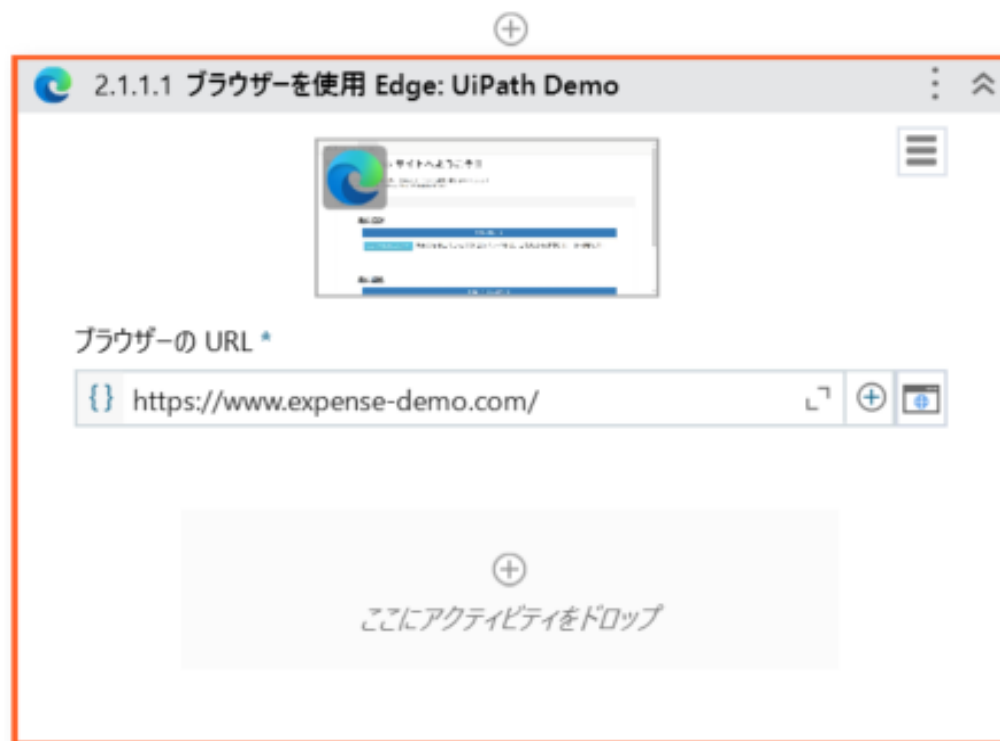
経費照会

経費のリストを参照する

アクティビティパネルで「アプリケーション/ブラウザーを使用」を検索、
「Excel ファイルを使用」の中の「実行」の中にドラッグ&ドロップします。
「自動化するアプリケーションを指定」をクリック、
Edge「UiPath Demoサイト」画面を選択します。



プロパティパネルで、
入力モード「シミュレート」を選択します。









プロパティパネルで、
ウィンドウサイズの変更「最大化」、
オープン動作「Always」、クローズ動作「Always」を選択します。

The screenshot displays the UiPath Studio interface. On the left, a browser window titled "2.1.1.1 ブラウザーを使用 Edge: UiPath Demo" is shown, containing a URL bar with "https://www.expense-demo.com/" and a large area with a plus icon and the text "ここにアクティビティをドロップ". On the right, the "プロパティ" (Properties) panel is open, showing the "UiPath.UIAutomationNext.Activities.NApplicationCard" activity. The "Misc" section includes a "プライベート" checkbox. The "オプション" (Options) section contains several settings: "ウィンドウ アタッチ モード" (Application Instance), "ウィンドウ サイズの変更" (Maximize), "オープン動作" (NAppOpenMode.Always), "クローズ動作" (NAppCloseMode.Always), and "入力モード" (Simulate). The "オプション - ブラウザー" (Options - Browser) section includes "WebDriver モード", "シークレット/プライベート ウィンドウ", "ユーザー データ フォルダー パス", and "ユーザー データ フォルダー モード". The "入力" (Input) section shows "統合アプリケーション ターゲット" (TargetApp).

プロパティ	値
UiPath.UIAutomationNext.Activities.NApplicationCard	
Misc	
プライベート	<input type="checkbox"/>
オプション	
ウィンドウ アタッチ モード	アプリケーション インスタンス
ウィンドウ サイズの変更	最大化
オープン動作	NAppOpenMode.Always
クローズ動作	NAppCloseMode.Always
入力モード	シミュレート
オプション - ブラウザー	
WebDriver モード	値を選択してください。
シークレット/プライベート ウィンドウ	値を選択してください。
ユーザー データ フォルダー パス	ブラウザが使用するユーザー データフォルダー
ユーザー データ フォルダー モード	値を選択してください。
入力	
統合アプリケーション ターゲット	TargetApp

アクティビティパネルで「クリック」を検索、
「ブラウザーを使用」の中にドラッグ&ドロップします。
「次で指定」をクリックします。


 2.1.1.1.1 クリック   


 次で指定: Edge: UiPath Demo 

または次から要素をドラッグ: [オブジェクト リポジトリ](#)

クリックの種類

マウス ボタン

シングル 

左 

Edge「UiPath Demoサイト」画面で、 「経費を登録する」をターゲットとして選択します。

UiPath Demo

ホーム

UiPath Demo サイトへようこそ!!

- 当サイトは、「できるUiPath」の書籍用のウェブサイト自動化の練習用ページとなります
- レッスンで当サイトへ登録した内容は、定期的に削除されます

メニュー

経費登録

経費を登録する

サンプルのダウンロード

演習で使用しているエクセルファイルは、こちらからダウンロード可能です。

経費照会

経費のリストを参照する

選択オプション

一時停止 自動

自動で見つかったアンカーはありません。
この要素にはアンカー(例: ラベル) がありますか? もしあれば、ターゲット要素が識別されるようにアンカーを指定しましょう。もっと詳しく

Computer Vision が有効化されています。すべての CV 要素を表示

検証 確認 キャンセル

「経費登録」をアンカーとして選択、
「確認」をクリックします。

UiPath Demo

ホーム

UiPath Demo サイトへようこそ!!

- 当サイトは、「できるUiPath」の書籍用のウェブサイト自動化の練習用ページとなります
- レッスンで当サイトへ登録した内容は、定期的に削除されます

メニュー

経費登録

経費を登録する

サンプルのダウンロード

演習で使用しているエクセルファイルは、こちらからダウンロード可能です。

経費照会

経費のリストを参照する

選択オプション

一時停止

TI

自動

① ターゲットおよびアンカーが検出されました。

Enter キーを押して確定してください。

Computer Vision が有効化されています。

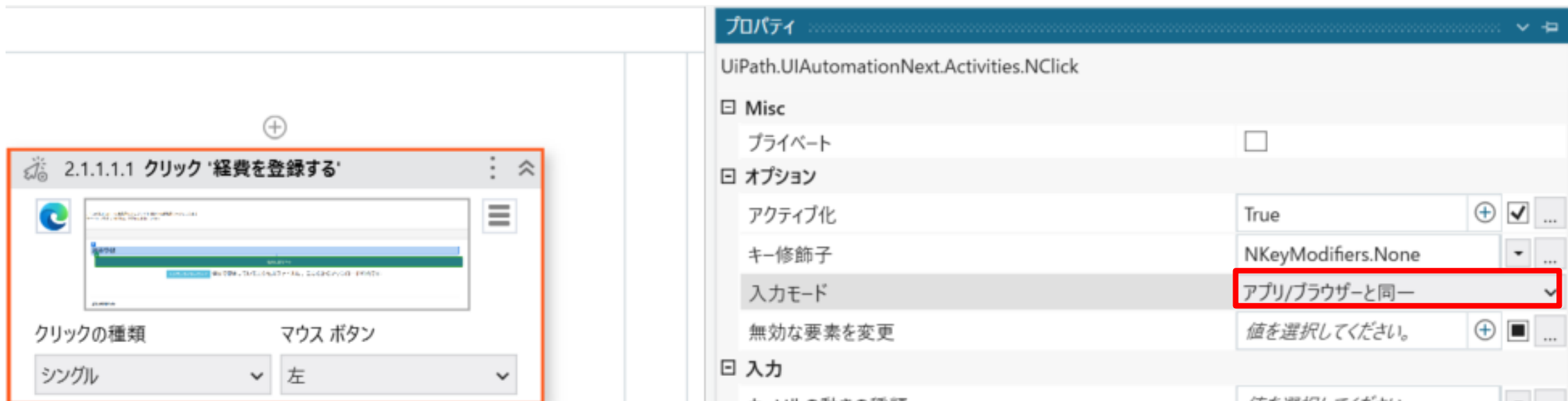
すべての CV 要素を表示

検証

確認

キャンセル

プロパティパネルで、
入力モード「アプリ/ブラウザーと同一」を選択します。



アクティビティパネルで「繰り返し (Excel の各行)」を検索、
「クリック '経費を登録する'」の下にドラッグ&ドロップします。
「先頭行をヘッダーとする」を☑します。
「対象範囲」で ⊕ をクリック、
「Excel」「Sheet1[シート]」を選択します。

2.1.1.1.2 繰り返し (Excel の各行)

繰り返し

CurrentRow

対象範囲 *

{ } 値を選択してください.

☒ 先頭行をヘッダーとする ☐ 各行の後に保存

ここにアクティビティをドロップ

Excel

ノートブック (自動保存: オフ)

(x) 変数を使用

{ } 詳細エディターを開く

Sheet1 [シート]

Excel 内で示す

カスタム入力

Edge「UiPath Demoサイト」で、
「経費を登録する」をクリック（図の画面に遷移）します。

UiPath Demo ホーム

経費一覧





明細を登録する



取引一覧

「明細を登録する」から、取引を作成します。

アクティビティパネルで「クリック」を検索、
「繰り返し (Excel の各行)」の中にドラッグ&ドロップします。
「次で指定」をクリックします。



Edge「UiPath Demoサイト」で、
ターゲット「明細を登録する」、
アンカー「経費一覧」を選択します。

 2.1.1.1.2.1 クリック   

 次で指定: Edge: UiPath Demo 

または次から要素をドラッグ: [オブジェクトリポジトリ](#)

クリックの種類 マウス ボタン

シングル  左 

プロパティパネルで、 入力モード「アプリ/ブラウザーと同一」を選択します。

Main

すべて展開 すべて折りたたむ

2.1.1.1.2 繰り返し (Excel の各行)

繰り返し
CurrentRow

対象範囲 *

[Excel] Sheet1

☒ 先頭行をヘッダーとする ☐ 各行の後に保存

2.1.1.1.2.1 クリック '明細を登録する'

クリックの種類
シングル

マウス ボタン
左

プロパティ

UiPath.UIAutomationNext.Activities.NClick

Misc

プライベート ☐

オプション

アクティブ化 True ☒ ...

キー修飾子 NKeyModifi ...

入力モード **アプリ/ブラウザーと同一** ▼

無効な要素を変更 値を選択 ☐ ...

入力

カーソルの動きの種類 値を選択して ...

クリックの種類 NClickType. ...

ターゲット TargetAnchorable

マウス ボタン NMouseBut ...

実行を検証 (null)

入力/出力要素

入力要素 入力 UI 要素 ☐ ...

Edge「UiPath Demoサイト」で、
「明細を登録する」をクリック（図の画面に遷移）します。

UiPath Demo ホーム

経費登録

タイトル*	<input type="text"/>
種別*	<input type="text" value="▼"/>
金額*	<input type="text"/>
備考	<input type="text"/>
<input type="button" value="登録する"/> <input type="button" value="キャンセル"/>	

アクティビティパネルで「文字を入力」を検索、
「クリック '明細を登録する'」の下にドラッグ&ドロップします。
「次で指定」をクリックします。

Edge「UiPath Demoサイト」で、
ターゲット「タイトル」の右隣にある入力ボックス、
アンカー「タイトル」を選択します。

TI 2.1.1.1.2.2 文字を入力

次で指定: Edge: UiPath Demo

▼

または次から要素をドラッグ: [オブジェクト リポジトリ](#)

以下を入力 ☒ 標準 ☐ セキュリティ保護

{ } 値を選択してください。

↵


+

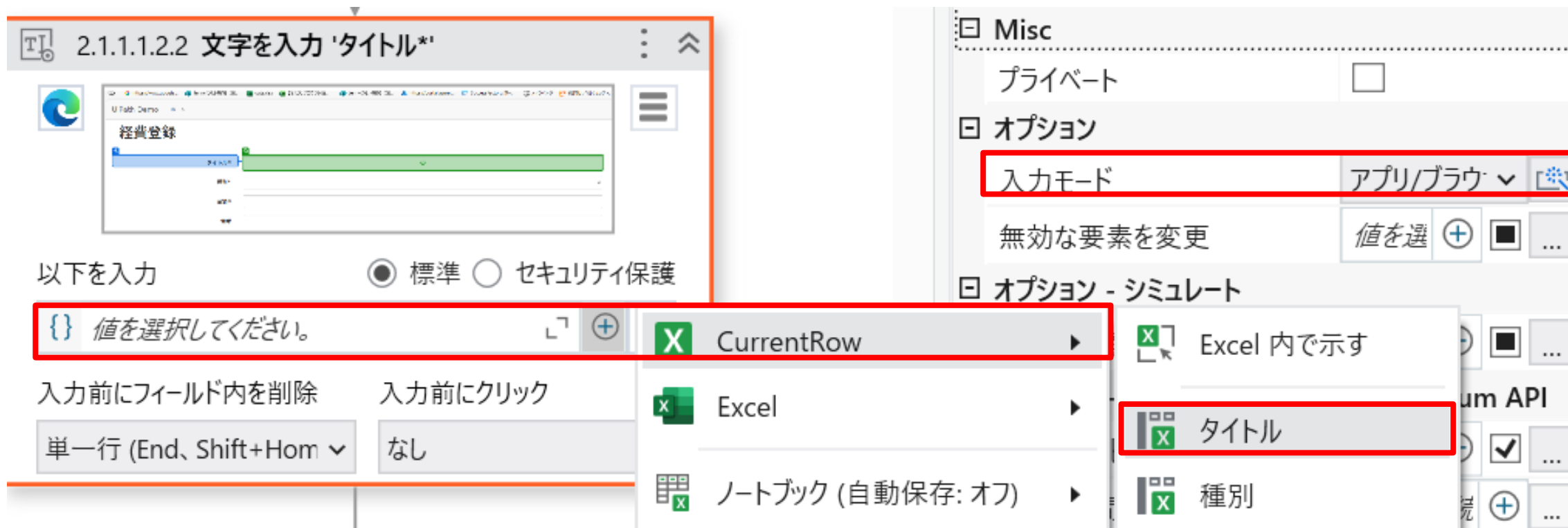
✖

入力前にフィールド内を削除 入力前にクリック

単一行 (End、Shift+Hom ▼

なし ▼

プロパティパネルで、
入力モード「アプリ/ブラウザーと同一」を選択します。
「以下を入力」で  をクリック、
「CurrentRow」「タイトル」を選択します。



The screenshot displays the Jera software interface. On the left, a preview window titled "2.1.1.1.2.2 文字を入力 'タイトル'" shows a web browser with a "経費登録" (Expense Registration) form. Below the preview, the "以下を入力" (Enter the following) section is active, with the "標準" (Standard) radio button selected. A red box highlights the input field containing the placeholder text "{ } 値を選択してください。" (Select a value). Below this, the "入力前にフィールド内を削除" (Delete content from field before input) dropdown is set to "単一行 (End、Shift+Hom)" (Single line (End, Shift+Hom)). The "入力前にクリック" (Click before input) dropdown is set to "なし" (None). On the right, the "プロパティパネル" (Property Panel) is shown. The "入力モード" (Input Mode) is set to "アプリ/ブラウ" (App/Browser). The "オプション" (Options) section is expanded, and the "オプション - シミュレート" (Options - Simulate) section is also expanded. A red box highlights the "CurrentRow" property, which has a dropdown menu open showing "Excel" and "ノートブック (自動保存: オフ)" (Notebook (Auto-save: Off)). The "タイトル" (Title) property is also highlighted with a red box.

アクティビティパネルで「項目を選択」を検索、
「文字を入力 'タイトル*'」の下にドラッグ&ドロップします。
「次で指定」をクリックします。

Edge「UiPath Demoサイト」で、
ターゲット「種別」の右隣にある入力ボックス、
アンカー「種別」を選択します。

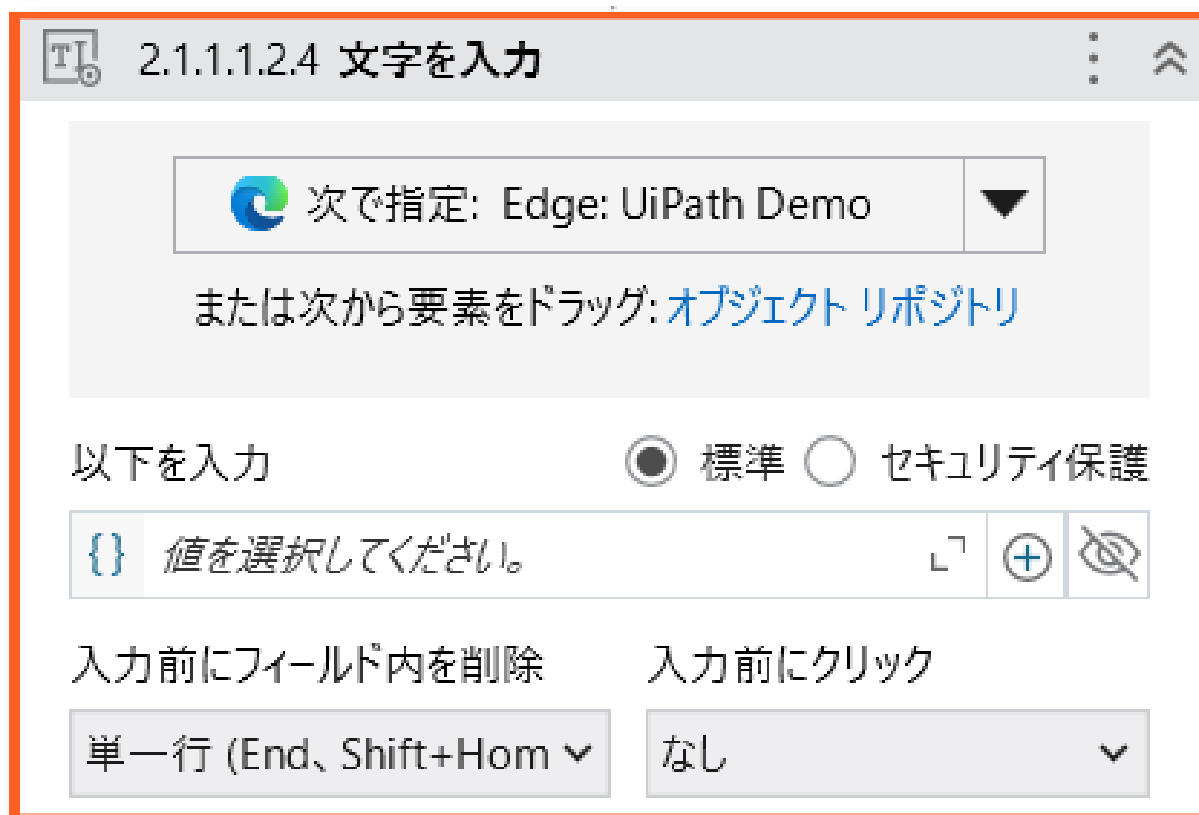


「選択する項目」で ⊕ をクリック、
「CurrentRow」「種別」を選択します。

The screenshot illustrates the process of selecting a value for the 'CurrentRow' field. The main window, titled '2.1.1.1.2.3 項目を選択 '種別*', contains a sub-window '経費登録' (Expense Registration) with a table. Below this, the '選択する項目 *' (Select Item *) section shows a red-bordered input field with the placeholder text '値を選択してください。' (Please select a value). To the right, a dropdown menu is open, displaying a list of options: 'CurrentRow', 'Excel', and 'ノートブック (自動保存: オフ)' (Notebook (Auto-save: Off)). The 'CurrentRow' option is selected, and its sub-menu is visible, showing 'Excel 内で示す' (Show in Excel), 'タイトル' (Title), and '種別' (Category). The '種別' option is highlighted with a red border. In the background, a sidebar menu on the right lists various categories: 'プライベート' (Private), 'オプション' (Options), '入力' (Input), and 'ターゲット' (Target).

アクティビティパネルで「文字を入力」を検索、
「項目を選択 '種別*'」の下にドラッグ&ドロップします。
「次で指定」をクリックします。

Edge「UiPath Demoサイト」で、
ターゲット「金額」の右隣にある入力ボックス、
アンカー「金額」を選択します。



2.1.1.1.2.4 文字を入力

次で指定: Edge: UiPath Demo ▼


または次から要素をドラッグ: [オブジェクトリポジトリ](#)

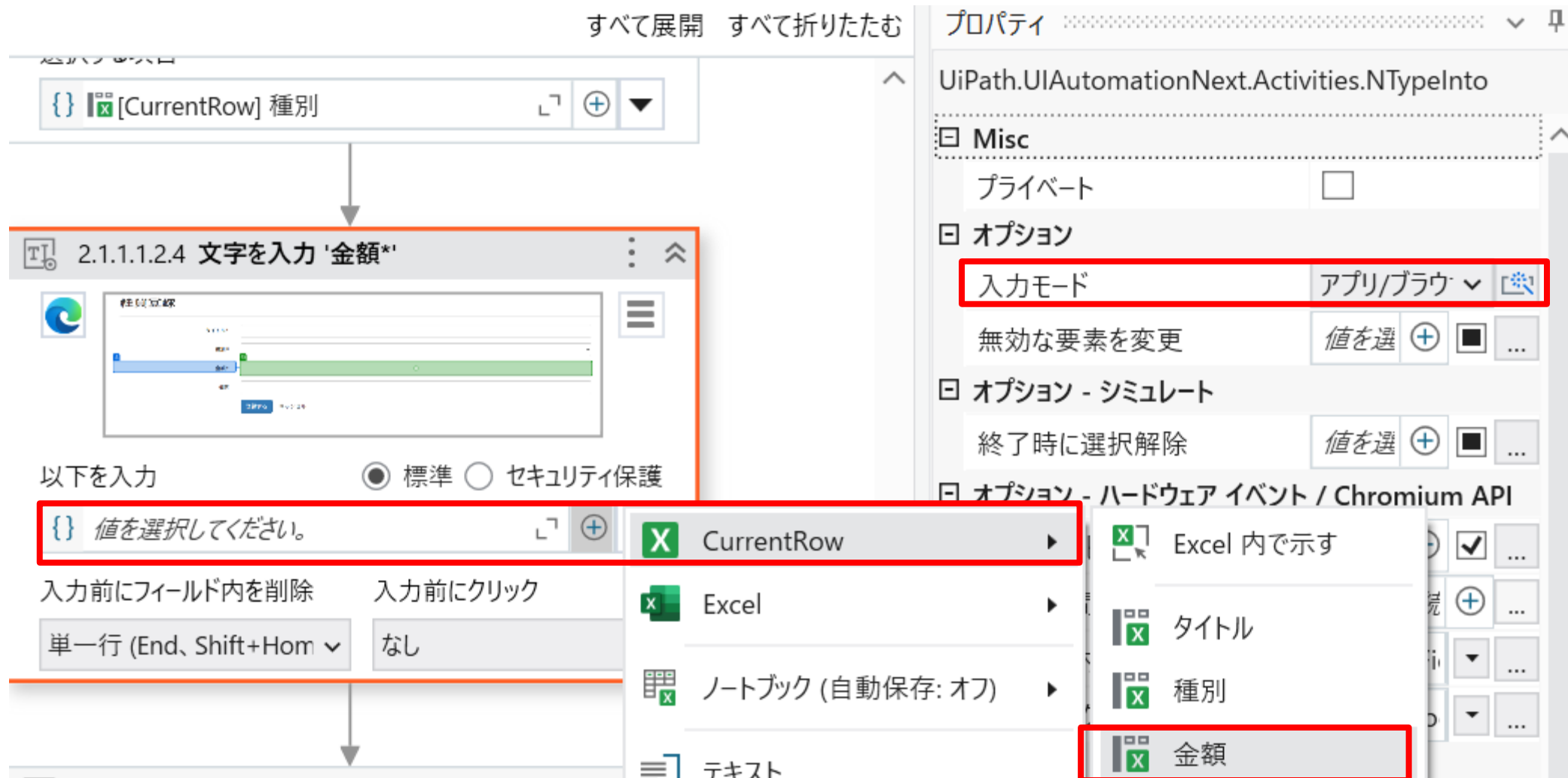
以下を入力 ☒ 標準 ☐ セキュリティ保護

{ } 値を選択してください。 ⏎ + ✖

入力前にフィールド内を削除 入力前にクリック

単一行 (End、Shift+Hom) ▼ なし ▼


プロパティパネルで、
入力モード「アプリ/ブラウザーと同一」を選択します。
「以下を入力」で  をクリック、
「CurrentRow」「金額」を選択します。




The screenshot displays the UiPath Properties panel for the activity `UiPath.UIAutomationNext.Activities.NTypeInto`. The **入力モード** (Input Mode) is set to **アプリ/ブラウ** (Same as Application/Browser). The **以下を入力** (Below Input) section shows the **標準** (Standard) radio button selected. The **値を選択してください。** (Please select a value.) dropdown menu is open, showing the **CurrentRow** and **金額** (Amount) properties selected. The **金額** property is highlighted in red. The **Excel** and **テキスト** (Text) properties are also visible in the list.

アクティビティパネルで「文字を入力」を検索、
「文字を入力 '金額*」の下にドラッグ&ドロップします。
「次で指定」をクリックします。


Edge「UiPath Demoサイト」で、
ターゲット「備考」の右隣にある入力ボックス、
アンカー「備考」を選択します。

 2.1.1.1.2.5 文字を入力


 次で指定: Edge: UiPath Demo ▼


または次から要素をドラッグ: [オブジェクト リポジトリ](#)

以下を入力 ☒ 標準 ☐ セキュリティ保護

 値を選択してください。


⌵

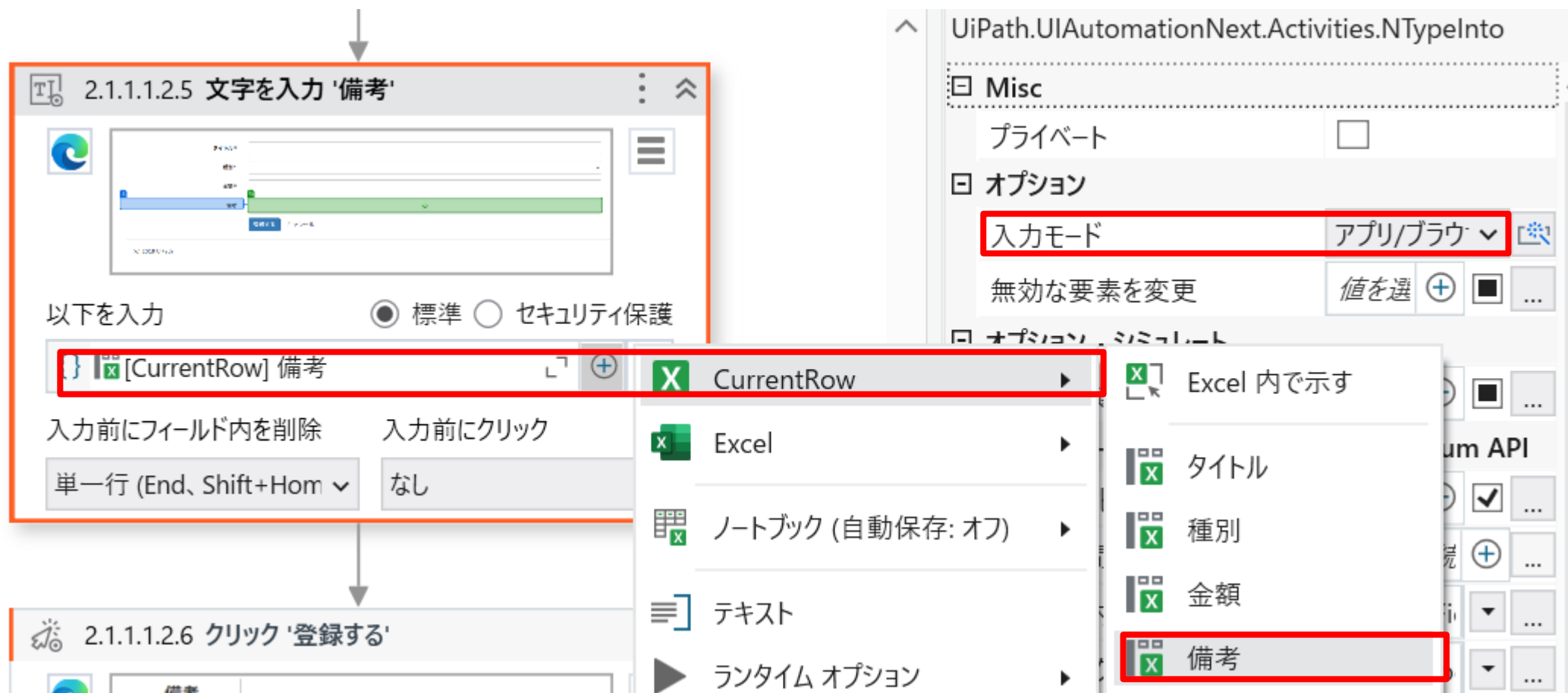




入力前にフィールド内を削除 入力前にクリック

単一行 (End、Shift+Hom ▼ なし ▼





プロパティパネルで、
入力モード「アプリ/ブラウザーと同一」を選択します。
「以下を入力」で  をクリック、
「CurrentRow」「備考」を選択します。





The screenshot illustrates the configuration of the 'Enter Text' activity in UiPath Studio. The main window shows the activity '2.1.1.1.2.5 文字を入力 '備考'' (Enter Text '備考'). Below the activity name, the '以下を入力' (Enter the following) section is active, showing a list of input elements. The first element is '[CurrentRow] 備考', which is highlighted with a red box. To the right, the 'CurrentRow' variable is selected from a dropdown menu, also highlighted with a red box. Below the input list, the '入力前にフィールド内を削除' (Delete content in field before input) section is visible, with '単一行 (End、Shift+Hom)' selected. The '入力前にクリック' (Click before input) section is set to 'なし' (None). On the right side, the 'UiPath.UIAutomationNext.Activities.NTypeInto' property panel is open. The '入力モード' (Input mode) is set to 'アプリ/ブラウ' (App/Browser), highlighted with a red box. Below this, the 'オプション' (Options) section is expanded, showing a list of input types. The '備考' (Remarks) option is selected, highlighted with a red box.

アクティビティパネルで「クリック」を検索、
「文字を入力 '備考」の下にドラッグ&ドロップします。
「次で指定」をクリックします。

Edge「UiPath Demoサイト」で、
ターゲット「登録する」、
アンカー「キャンセル」を選択します。


 2.1.1.1.2.6 クリック   


 次で指定: Edge: UiPath Demo 

または次から要素をドラッグ: [オブジェクト リポジトリ](#)

クリックの種類

マウス ボタン

シングル 

左 

プロパティパネルで、
入力モード「アプリ/ブラウザーと同一」を選択します。

すべて展開 すべて折りたたむ

以下を入力 ☒ 標準 ☐ セキュリティ保護

`{}` `[CurrentRow]` 備考

入力前にフィールド内を削除 入力前にクリック

単一行 (End、Shift+Hom) なし

2.1.1.1.2.6 クリック '登録する'

備考

登録する キャンセル

クリックの種類 マウス ボタン

シングル 左

プロパティ

UiPath.UIAutomationNext.Activities.NClick

Misc

プライベート

オプション

アクティブ化 True ☒

キー修飾子 NKeyMod

入力モード アプリ/ブラウザーと

無効な要素を変更 値を選

入力

カーソルの動きの種類 値を選択し

クリックの種類 NClickTyp

ターゲット TargetAnchorak

マウス ボタン NMouseB

Edge「UiPath Demoサイト」で、
（仮データを入力し）
「登録する」をクリック（図の画面に遷移）します。

UiPath Demo ホーム

経費照会

コード: 483260
タイトル: 交際費
種別: 仮払
金額: 10980
備考: 今月分

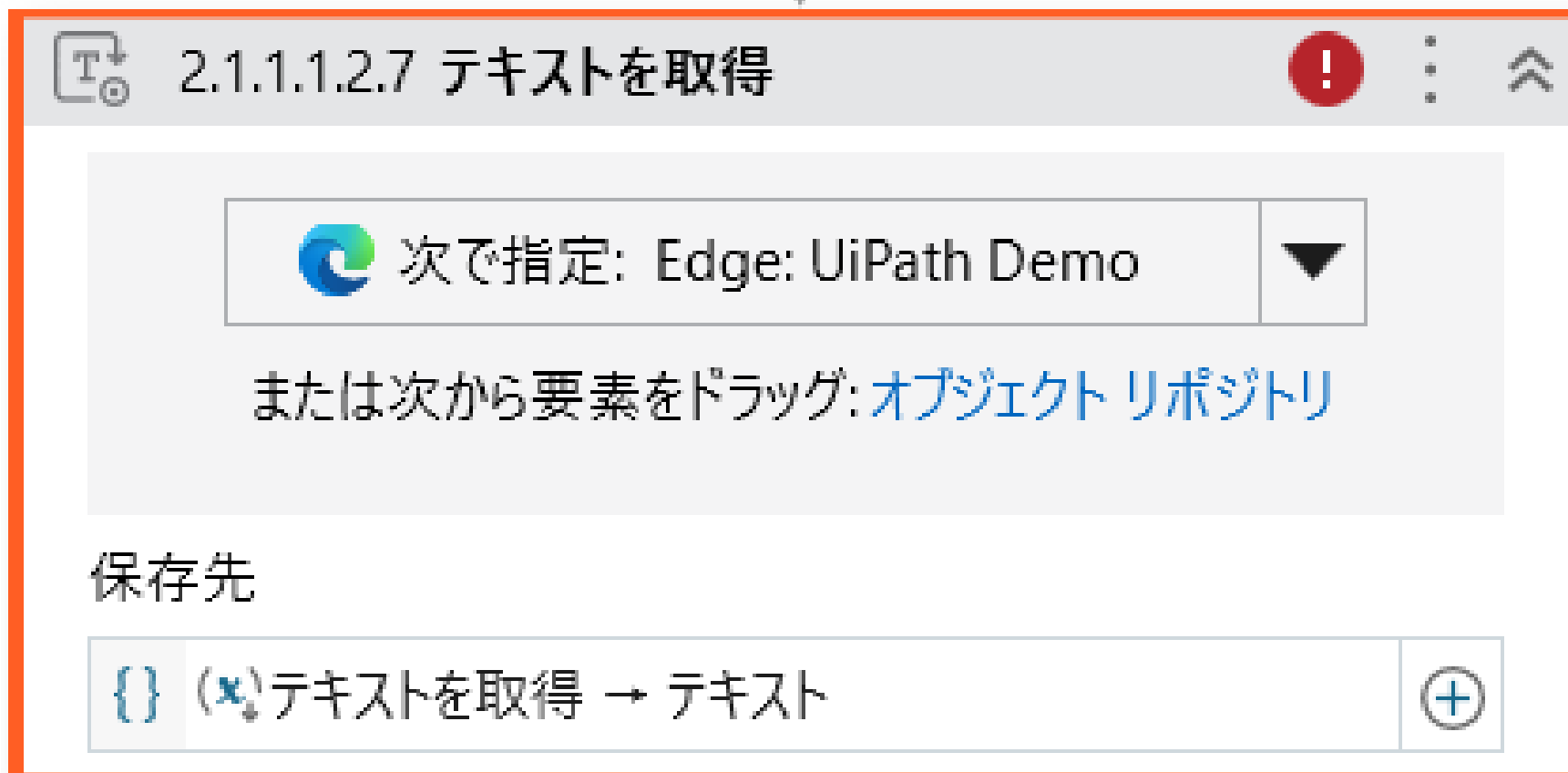
戻る

破棄


(c) 2018 UiPath

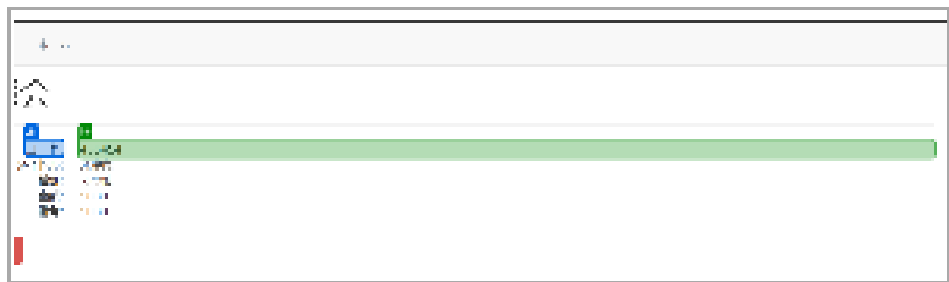
アクティビティパネルで「テキストを取得」を検索、
「クリック '登録する'」の下にドラッグ&ドロップします。
「次で指定」をクリックします。

Edge「UiPath Demoサイト」で、
ターゲット「コード:」右隣にある文字列、
アンカー「コード:」を選択します。









「保存先」で  をクリック、
「変数を作成」を選択します。

 2.1.1.1.2.7 テキストを取得 'コード:'



保存先

 (x) テキストを取得 'コード:' → テキスト 

-  CurrentRow ▶
-  Excel ▶
-  ノートブック (自動保存: オフ) ▶
-  ランタイム オプション ▶
- (x) 変数を作成

「変数に名前を付ける」に「コード」を入力、
「OK」をクリックします。



変数を作成



変数に名前を付ける

コード

スコープ

Main

既定値

{ }

値を選択してください。



OK

キャンセル

変数「コード」のデータ型を「String」に設定します

すべて展開 すべて折りたたむ

クリックの種類 マウス ボタン

シングル 左

2.1.1.1.2.7 テキストを取得 'コード'

保存先

{ } コード

データマネージャー

データを検索

▼ (x) 変数

⊕ 新しい変数


▼ Ui Main

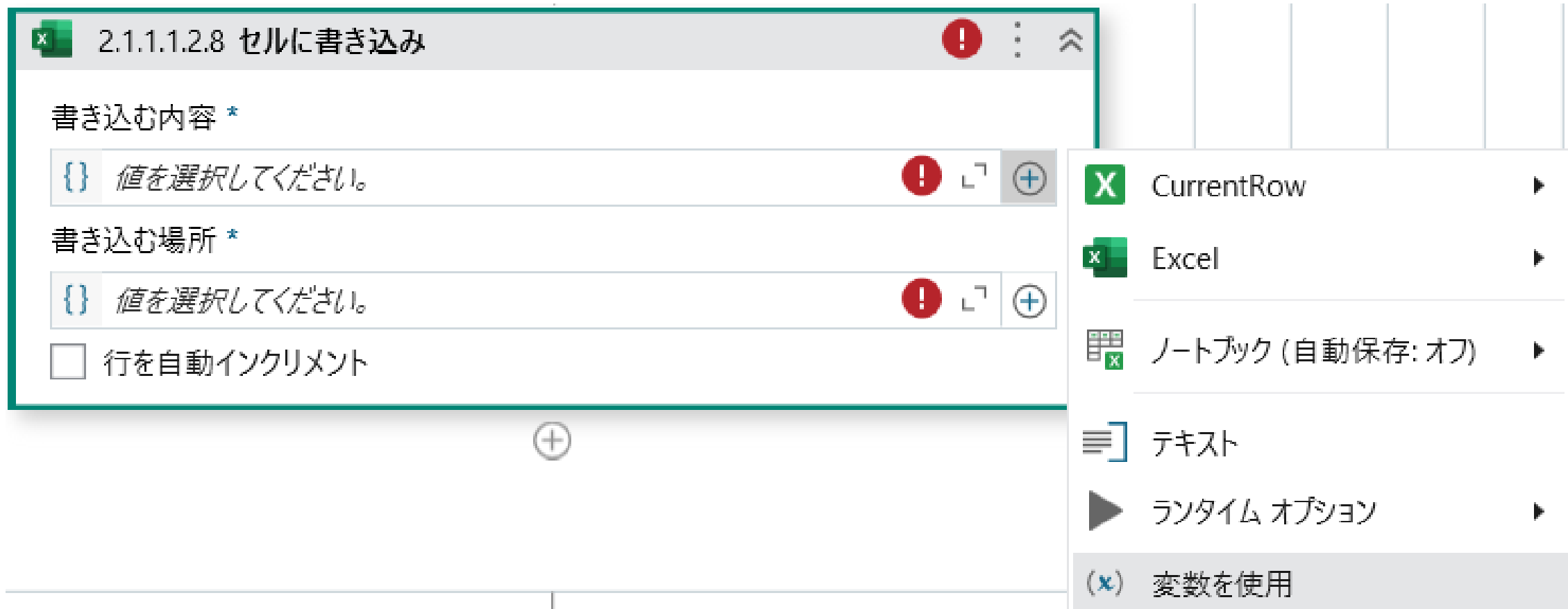
▼ (x) コード

データ型 String

スコープ Main

既定値 { } 値を選択してください... ⊕

アクティビティパネルで「セルに書き込み」を検索、
「テキストを取得 'コード:'」の下にドラッグ&ドロップします。
「書き込む内容」で  をクリック、
「変数を使用」を選択します。



2.1.1.1.2.8 セルに書き込み

書き込む内容 *

{ } 値を選択してください。





書き込む場所 *

{ } 値を選択してください。


☐ 行を自動インクリメント




- CurrentRow
- Excel
- ノートブック (自動保存: オフ)
- テキスト
- ランタイム オプション
- (x) 変数を使用



変数「コード」を選択します。

 2.1.1.1.2.8 セルに書き込み   

書き込む内容 *

 値を選択してください。

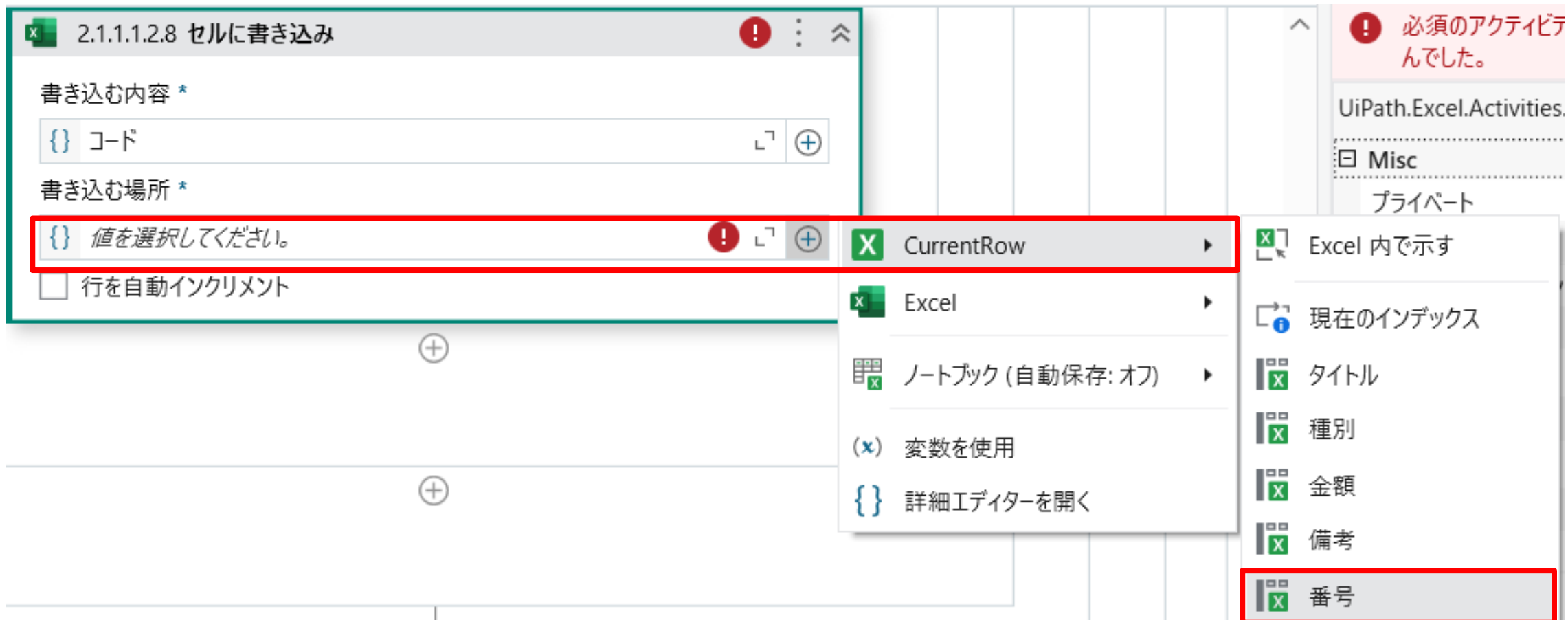
  

 コード 

▼ (x) 変数

▼ (x) コード

「書き込む場所」で  をクリック、
「CurrentRow」「番号」を選択します。



2.1.1.1.2.8 セルに書き込み

書き込む内容 *

{ } コード

書き込む場所 *

{ } 値を選択してください。

☐ 行を自動インクリメント

CurrentRow

Excel

ノートブック (自動保存: オフ)

(x) 変数を使用

{ } 詳細エディターを開く

Excel 内で示す

現在のインデックス

タイトル

種別

金額

備考

番号

必須のアクティビティではありません。





UiPath.Excel.Activities.



Misc

プライベート

アクティビティパネルで「クリック」を検索、
「セルに書き込み」の下にドラッグ&ドロップします。
「次で指定」をクリックします。

Edge「UiPath Demoサイト」で、
ターゲット「戻る」、
アンカー「破棄」を選択します。


 2.1.1.1.2.9 クリック   


 次で指定: Edge: UiPath Demo 

または次から要素をドラッグ: [オブジェクトリポジトリ](#)

クリックの種類

マウス ボタン

シングル 

左 

プロパティパネルで、
入力モード「アプリ/ブラウザーと同一」を選択します。

すべて展開 すべて折りたたむ

テキストを取得 'コード' → テキスト

場所 *

[CurrentRow] 番号

を自動インクリメント

2.1.1.1.2.9 クリック '戻る'

金額: 5030
備考: 先月分

クリックの種類 マウス ボタン

シングル 左

プロパティ

UiPath.UIAutomationNext.Activities.NClick

Misc

プライベート

オプション

アクティブ化 True + ✓ ...

キー修飾子 NKeyMod ▾ ...

入力モード アプリ/ブラウザーと ▾

無効な要素を変更 値を選 + ■ ...

入力

カーソルの動きの種類 値を選択し ▾ ...

クリックの種類 NClickType ▾ ...

ターゲット TargetAnchorak

以上でロボは完成です。

リボンで「実行」をクリックすると、下記リンク先ビデオのように動作します。



<https://jeragroup.sharepoint.com/sites/Jenny1/Shared%20Documents/General/@共有ファイル/20 教育資料/数分でマスターできる超入門ミニロボ/市民開発サポート要員スキル向上/05 Excelとブラウザ操作/ロボ作成動画/ロボ実行動画.mp4>